

# 現在の感染・療養状況等について

大阪府健康医療部

1	陽性者数等の推移	P3~10
2	感染エピソードやクラスターの発生状況	P11~15
3	入院・療養状況	P16~26
4	重症・死亡例のまとめ	P27~31
5	第七波における大規模な感染拡大に伴う 非常事態とその対応について	P32~41

# 1 陽性者数等の推移

# 陽性者数の推移（7月26日時点）

◆ 新規陽性者数は、7月20日以降、2万人を超過する日が続き、26日に過去最多の25,762人が確認。

(人)

30000

25000

20000

15000

10000

5000

0

12/17

12/24

12/31

1/7

1/14

1/21

1/28

2/4

2/11

2/18

2/25

3/4

3/11

3/18

3/25

4/1

4/8

4/15

4/22

4/29

5/6

5/13

5/20

5/27

6/3

6/10

6/17

6/24

7/1

7/8

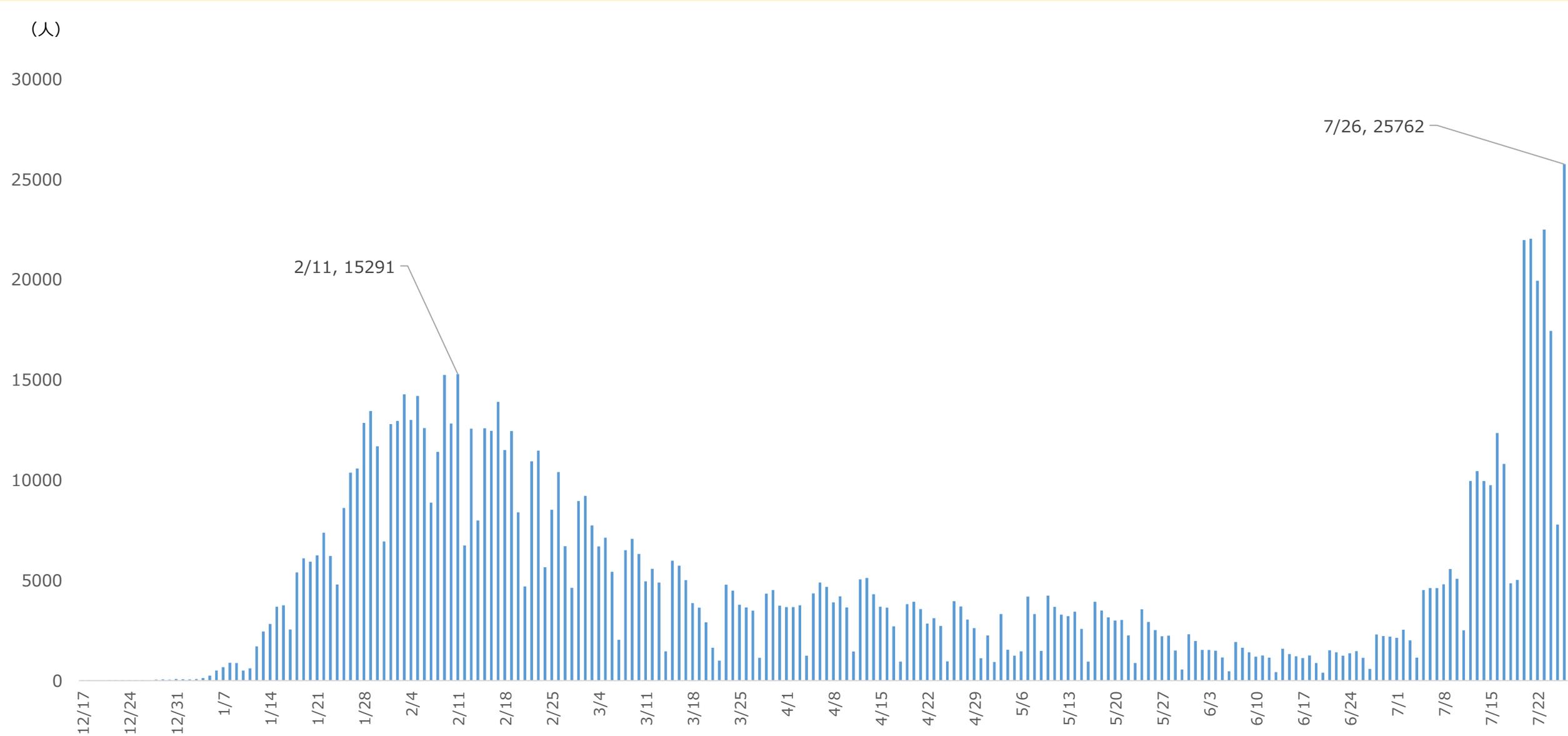
7/15

7/22

2/11, 15291

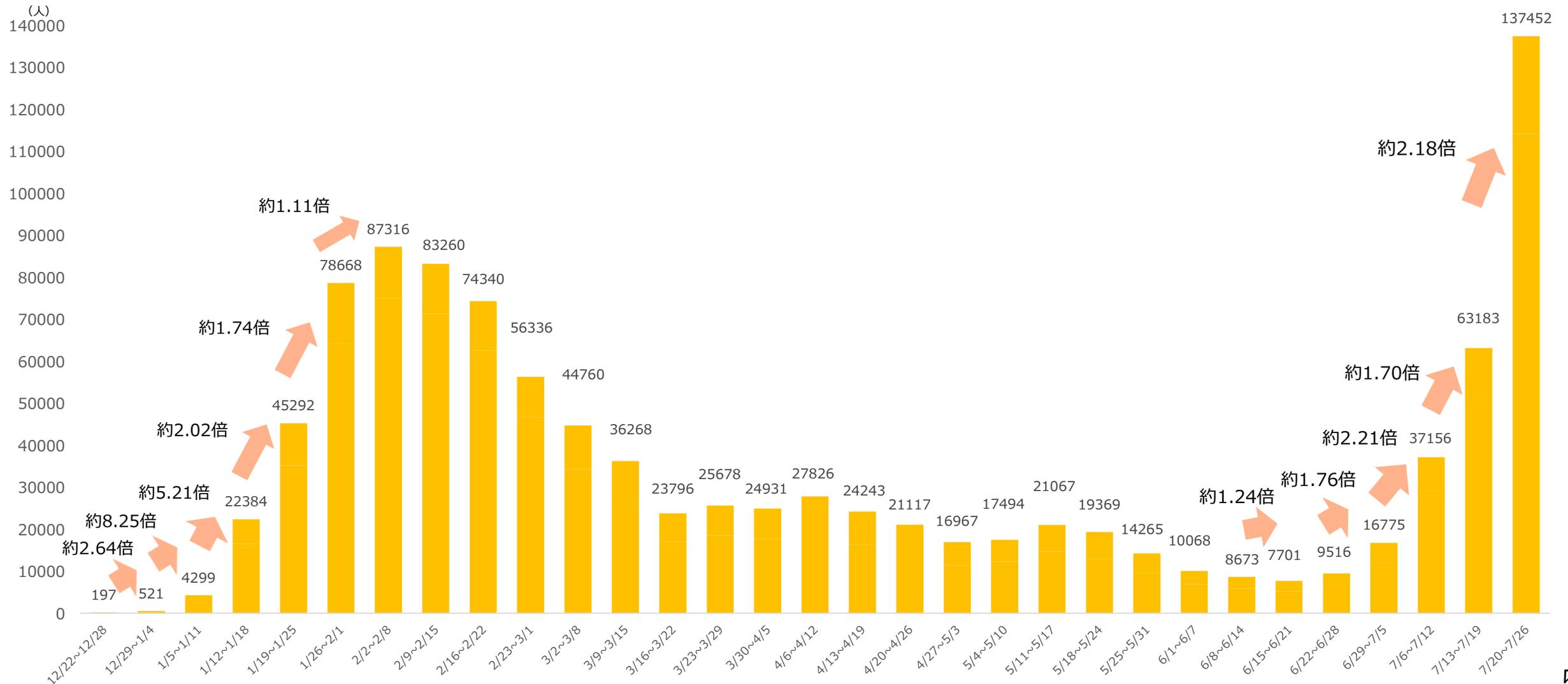
7/26, 25762

判明日



# 7日間毎の新規陽性者数(7月26日時点)

◆ 新規陽性者数は、直近の前週増加比(※)が約2.18倍。直近1週間の新規陽性者数19,636人/日。  
 (※) 前週は、3連休による影響を受けている可能性あり。

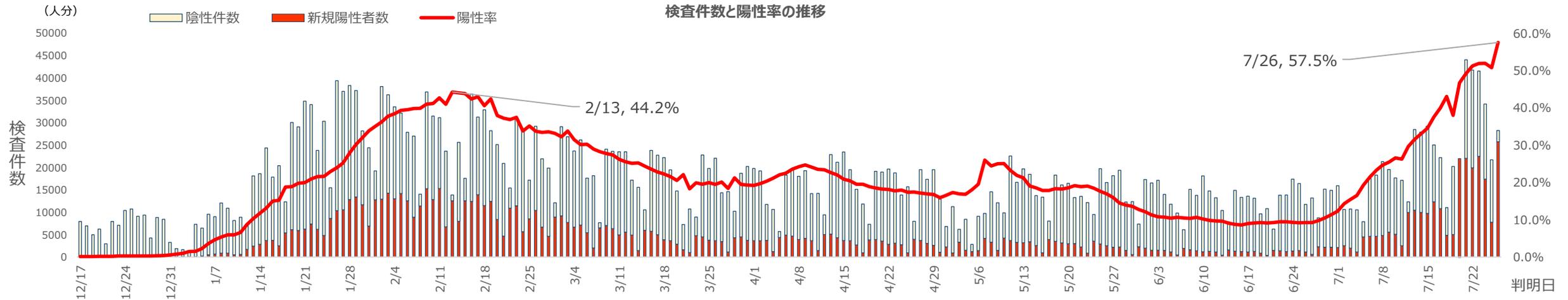


# 検査件数と陽性率（7月26日時点）

- ◆ 陽性率は、7月26日時点で57.5%と過去最多。
- ◆ 自費検査及び無料検査の陽性判明率は、継続して増加。

## 【行政検査】

※算出方法：「1週間の陽性者数（疑似症を除く）／1週間の検体採取をした人数」



## 【自費検査】

自費検査（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び  
新型コロナ検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
6/27～7/3	2,473 件	92 名	3.7 %
7/4～7/10	4,609 件	201 名	4.4 %
7/11～7/17	7,839 件	523 名	6.7 %

## 【無料検査】

新型コロナ検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数  
（ワクチン・検査パッケージ等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計）

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
6/27～7/3	37,081 件	868 名	2.3 %
7/4～7/10	49,529 件	2,190 名	4.4 %
7/11～7/17	80,832 件	4,518 名	5.6 %

## 【参考：第六波における自費検査・無料検査の最高値】

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
1/31～2/6	16,444 件	803 名	4.9 %
2/7～2/13	13,688 件	1,136 名	8.3 %

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数 ※1	陽性判明率
1/31～2/6	50,979 件	7,211 名	14.1 %
2/7～2/13	45,387 件	6,380 名	14.1 %

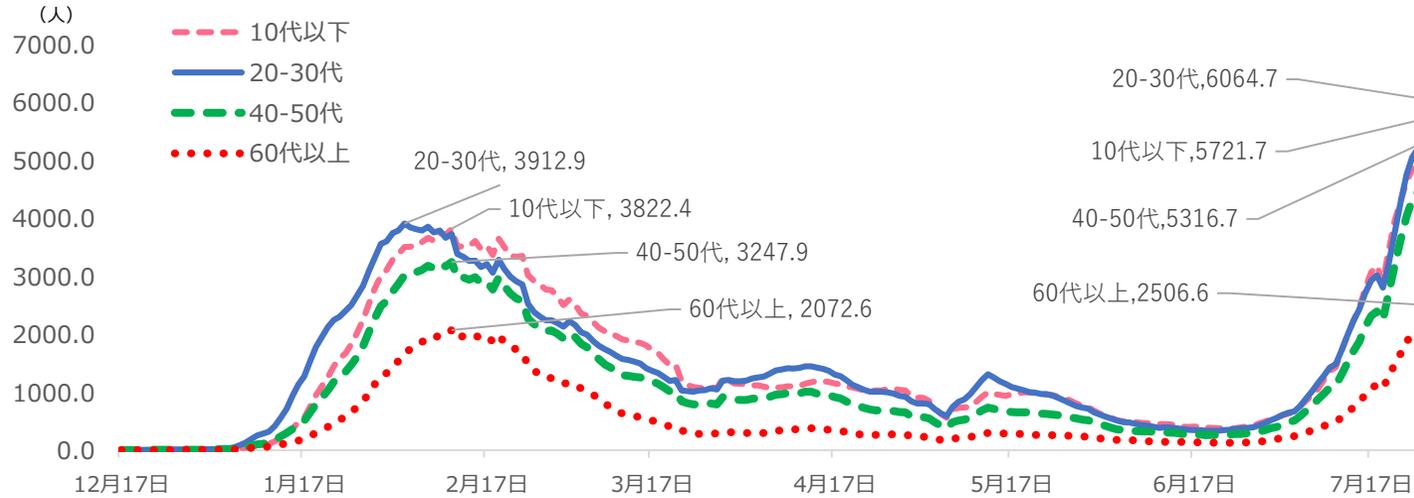
※1 陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としている。  
(陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査のいずれで陽性となったかは区別ができない。)

※2 上記のほか、高齢者施設等（入所・居住系）の従事者に対する抗原キット定期検査実施。

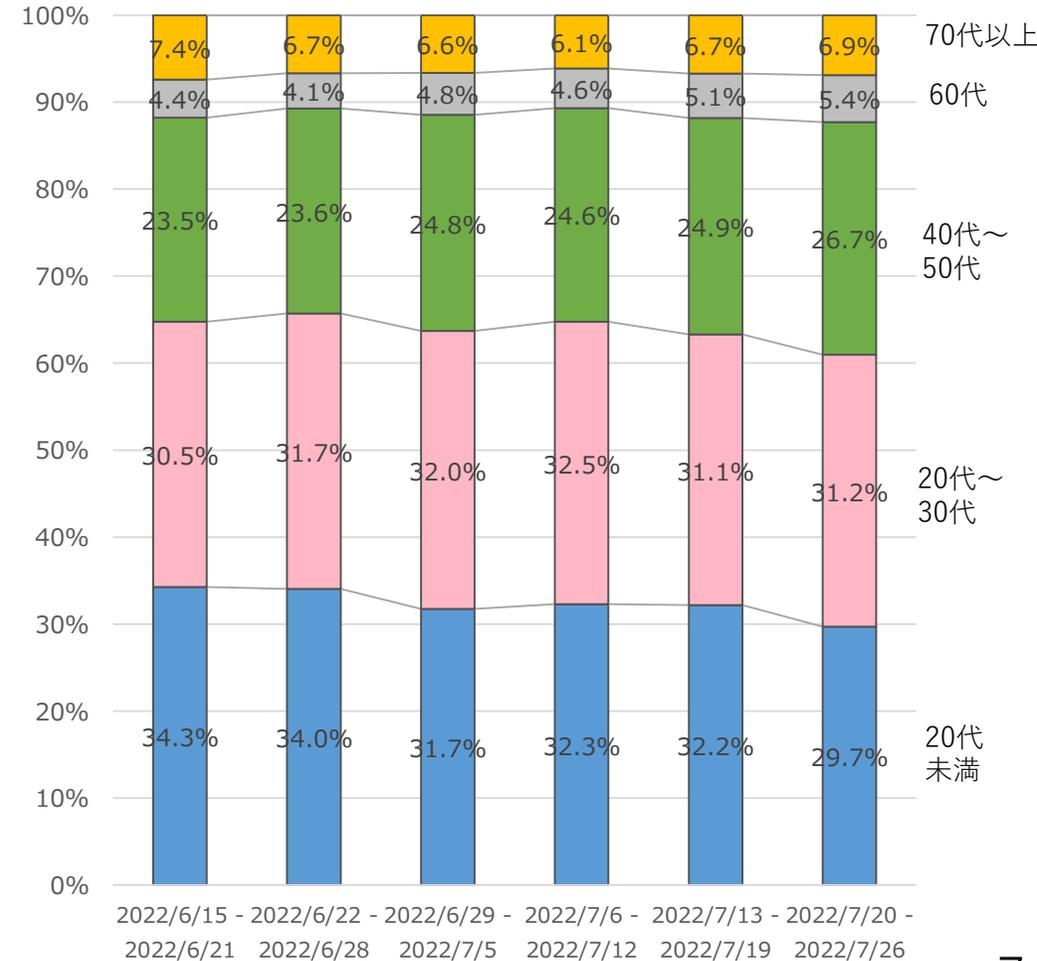
# 年代別新規陽性者数の推移 (7月26日時点)

◆ 各年代別新規陽性者数 (7日間移動平均) は各年代とも第六波のピーク値を超過し、増加。  
60代以上の新規陽性者が全陽性者数に占める割合が増加し、12.3%。

【年代別新規陽性者数 (7日間移動平均) の推移】



【陽性者の年齢区分 (割合、1週間単位)】



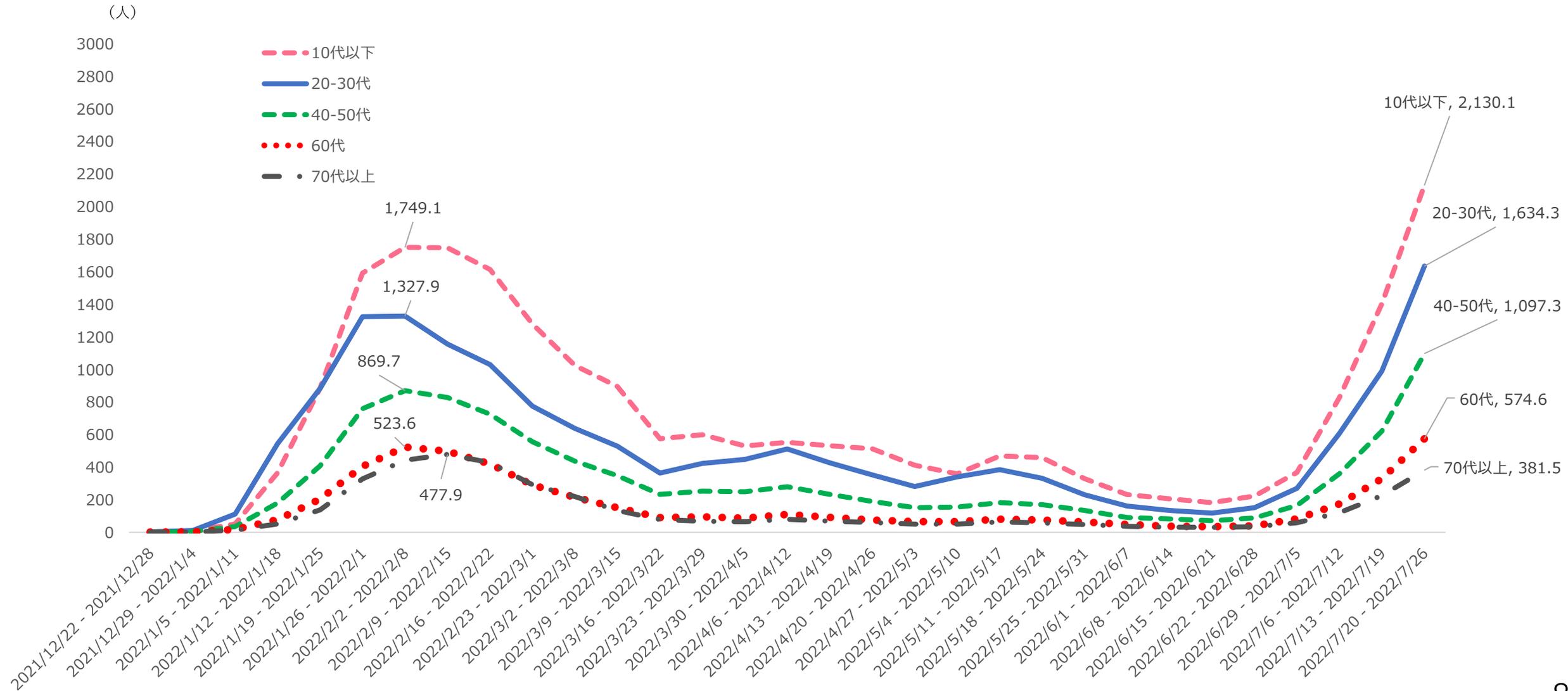
【年代別新規陽性者数 (7日間移動平均) 前日増加比】

	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
10代以下	1.13	1.04	1.20	1.16	1.12	1.10	1.13	1.10	1.04	0.91	1.19	1.15	1.08	1.08	1.05	1.01	1.17
20~30代	1.11	1.05	1.16	1.16	1.12	1.09	1.11	1.08	1.03	0.93	1.15	1.17	1.14	1.11	1.06	1.03	1.16
40~50代	1.11	1.04	1.16	1.16	1.12	1.10	1.13	1.09	1.03	0.94	1.21	1.18	1.13	1.12	1.07	1.03	1.19
60代以上	1.10	1.06	1.16	1.14	1.15	1.13	1.15	1.13	1.04	0.95	1.20	1.16	1.12	1.13	1.07	1.03	1.21

前日増加比が1を超過した日

# 年代別新規陽性者数の推移（人口10万人対）（7月26日時点）

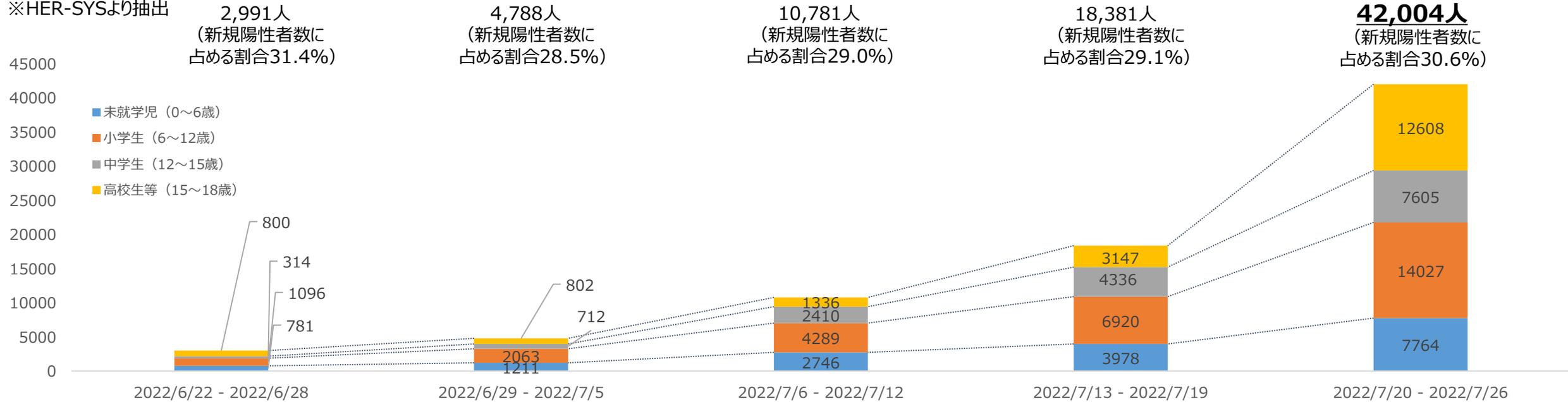
◆ 第七波における各年代の人口10万人あたりの陽性者数（1週間単位）は、特に10代以下の規模が大きく、70代以上を除くその他の年代においても、第六波の最高値を上回る規模に拡大。



# 18歳以下の新規陽性者の状況（7月26日時点）

◆ 大規模な感染が続き、直近1週間で18歳以下の新規陽性者数は約4万人におよぶ。第七波では、約1か月で、小学生では第六波の約3分の1、中学生では約半分の陽性者が確認されるなど、18歳以下の陽性者が急増。

※HER-SYSより抽出



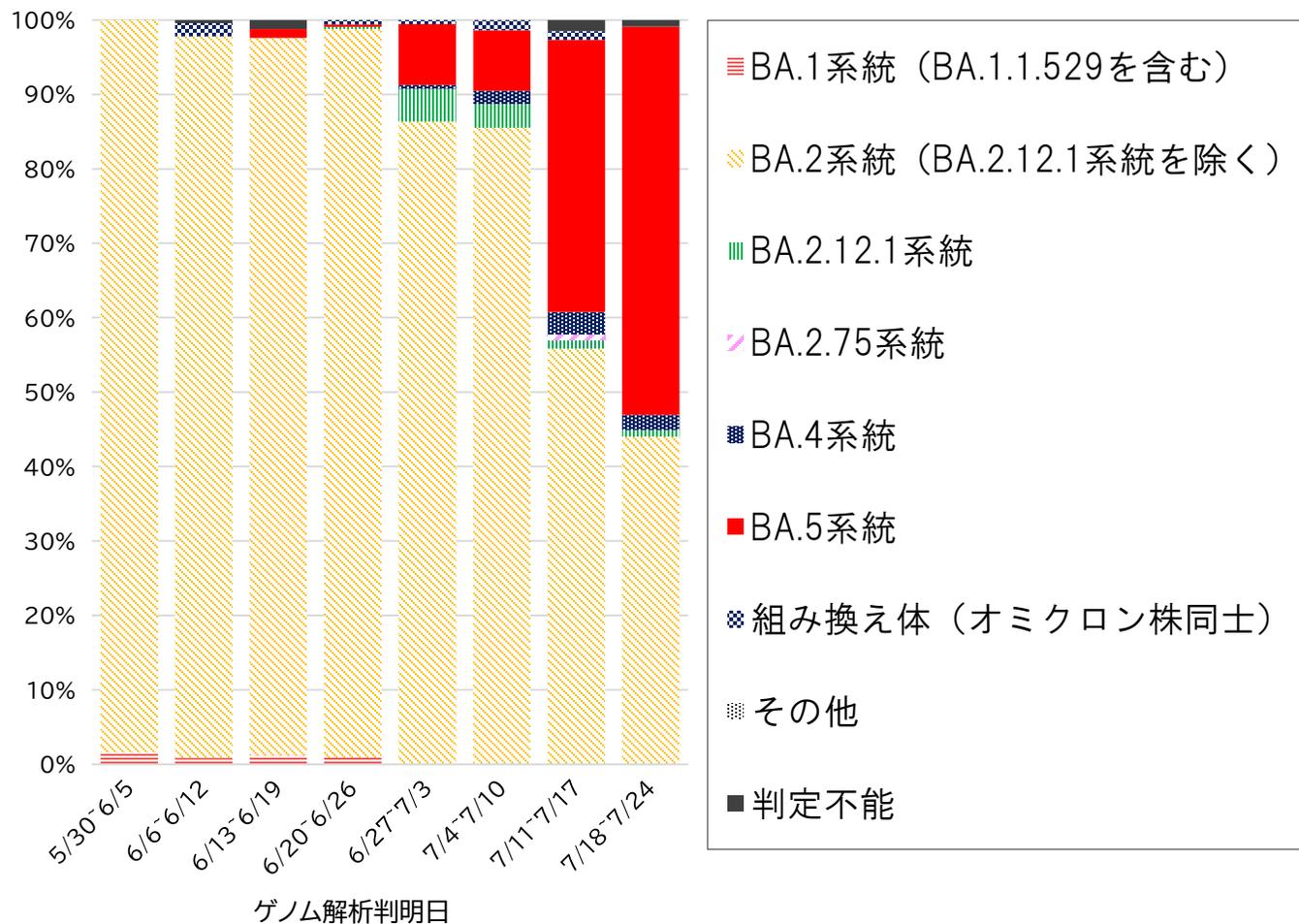
	各年代人口	第六波 (R3.12.17-R4.6.24) 190日間		第七波 (R4.6.25-R4.7.26時点) 32日間	
		第六波新規陽性者数	第六波新規陽性者が年代人口に占める比率	第七波新規陽性者数	第七波新規陽性者が年代人口に占める比率
未就学児 (0~6歳)	379,540人	67,521人	17.8%	16,170人	4.3%
小学生 (6~12歳)	422,433人	90,661人	21.5%	28,012人	6.6%
中学生 (12~15歳)	221,610人	34,176人	15.4%	15,247人	6.9%
高校生 (15~18歳)	207,262人	35,093人	16.9%	12,856人	6.2%
計	1,230,845人	227,451人	18.5%	72,285人	5.9%

# オミクロン株 (BA.5系統等) の検出状況

◆ 変異株スクリーニング検査におけるBA.5系統又はBA.4系統の疑いのある株の検出率は、約82.5%。

## ○ゲノム解析により判明した変異株の検出割合

(対象期間に検出されたpango lineage(新型コロナウイルスの国際的な系統分類命名法)別に集計)



## ○ゲノム解析結果(BA.5系統等の主なオミクロン株亜系統の確定例)

	7/4~7/10	7/11~7/17	7/18~7/24
BA.5系統	18	97	179 (312)
BA.4系統	4	8	7 (20)
BA.2.12.1系統	7	3	3 (23)
BA.2.75系統	0	2	0 (2)
BA.1系統とBA.2系統の組換え体	3	3	0 (13)

( )内はこれまでの累計

## ○変異株スクリーニング結果(BA.5系統又はBA.4系統疑い)

	7/4~7/10	7/11~7/17	7/18~7/24
BA.5系統又はBA.4系統の疑い検出数	219	847	2,119
変異株PCR検査数	559	1409	2,570
検出率	約39.2%	約60.1%	約82.5%

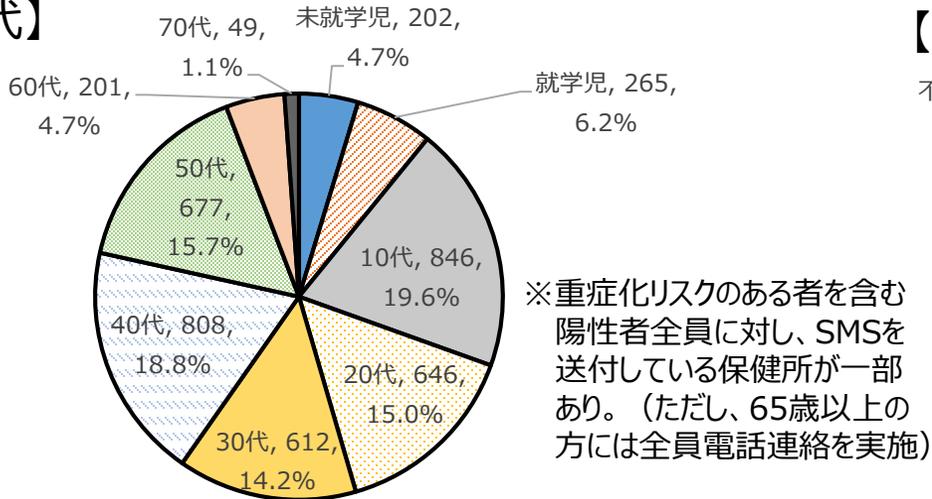
※ゲノム解析はウイルス量の多い検体を対象にしており、全ての陽性検体を対象しているわけではない。  
 また、感染拡大状況下による検査数増加に伴い、大量に検査可能な検査機関ほど、ゲノム解析に時間がかかる傾向にある。  
 ※検査機関からの結果報告日毎に集計しており、当該週における発症日や検体採取日毎の発生状況を表しているわけではない。

## 2 感染エピソードや クラスターの発生状況

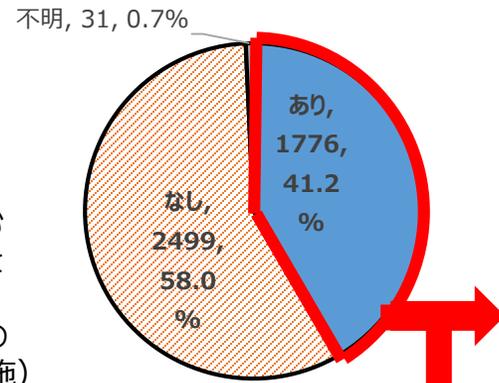
# 重症化リスクの少ない陽性者へのアンケート

- ◆ 令和4年6月29日より、感染経路などを把握するため、重症化リスクの少ない陽性者へ送付するSMS（ショートメール）等を活用したアンケートを実施。（7月16日時点 回答者4,306人）
- ◆ 症状は、発熱が8割、のどの痛みが7割を超えるなど高い一方、無症状である割合は1.6%と低い。
- ◆ 感染の心当たりがある場面における感染対策実施状況として、5割弱がマスクを着用しておらず、6割強が換気を十分にできていなかった。また、8割以上がソーシャルディスタンスが十分でなかった。

## 【年代】



## 【感染の心当たり】



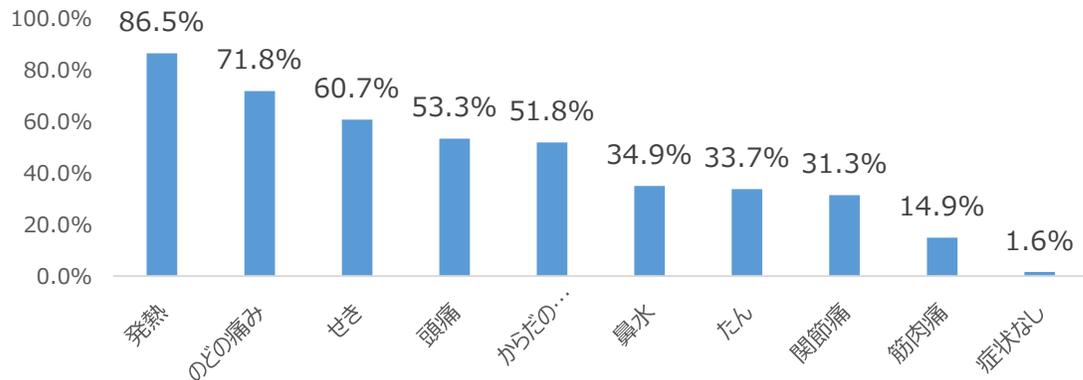
## 【感染の心当たりがある1,776人の事例】（複数回答可）

心あたりがある場面	回答数	割合
長時間、会話を伴う業務や授業	326	18.4%
飲酒・接待を伴う会食（従業員含む）	178	10.0%
食事をしながら打ち合わせ等	132	7.4%
団体スポーツ・スポーツジム等	96	5.4%
同僚や友人等と同じ車で長時間移動	70	3.9%

※その他を除く事例の多かった上位5つを記載

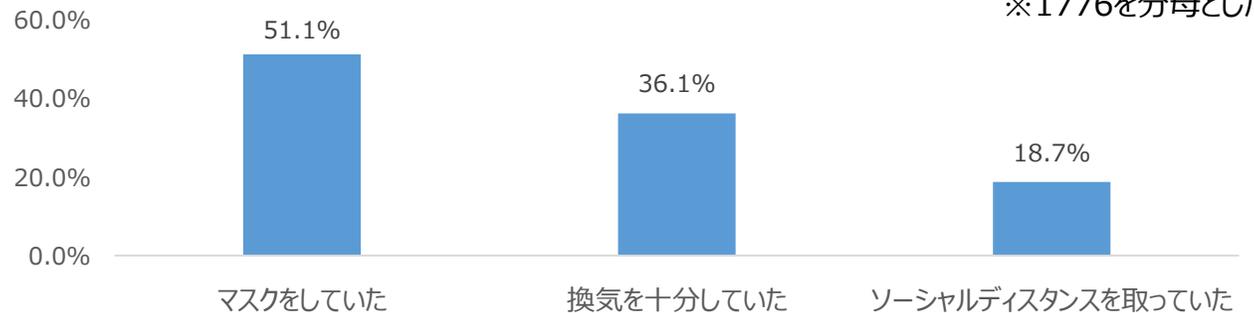
## 【症状】（複数回答可）

※4306を分母とした割合



## 【感染の心当たりのある場面における感染対策実施状況】（複数回答可）

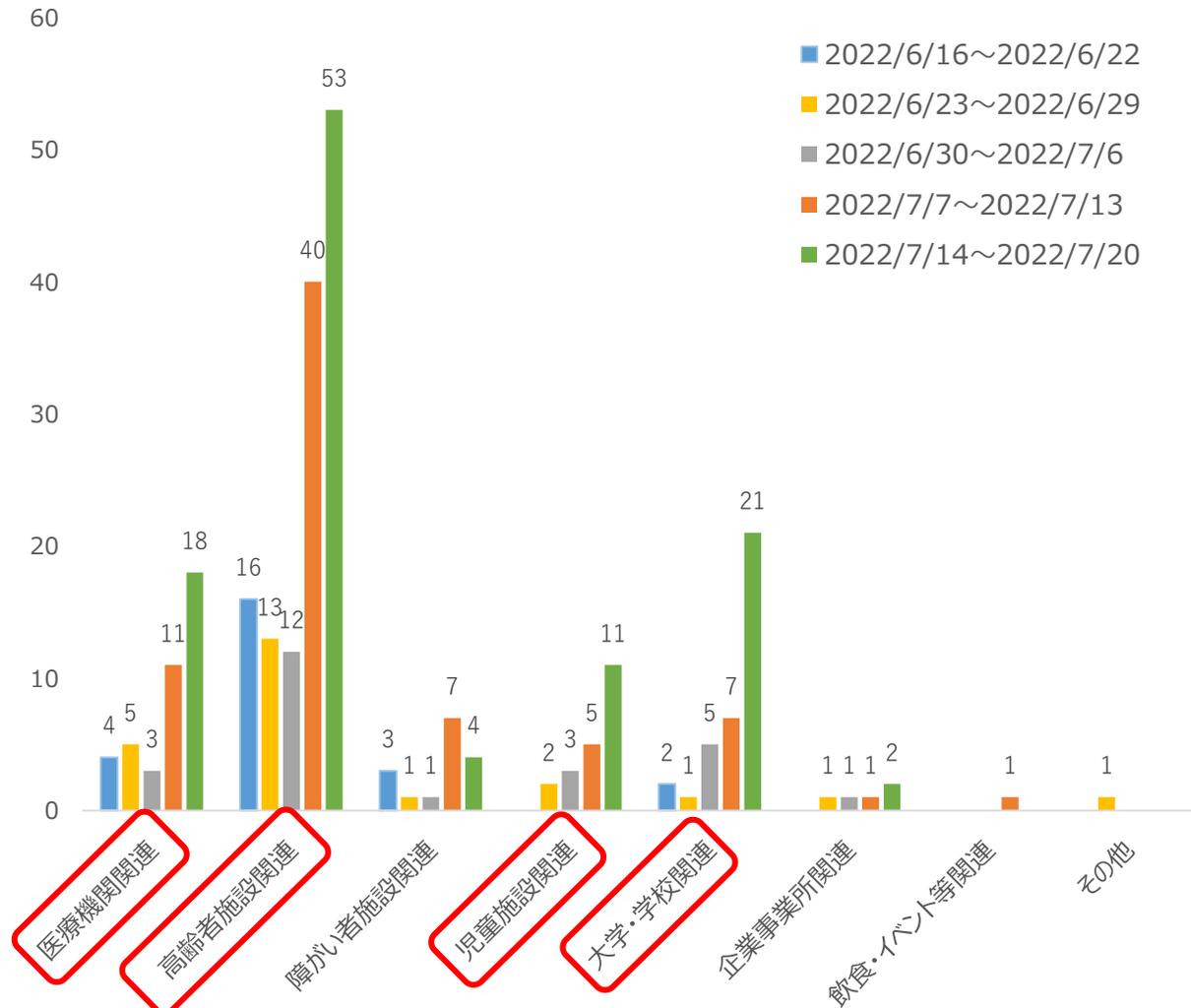
※1776を分母とした割合



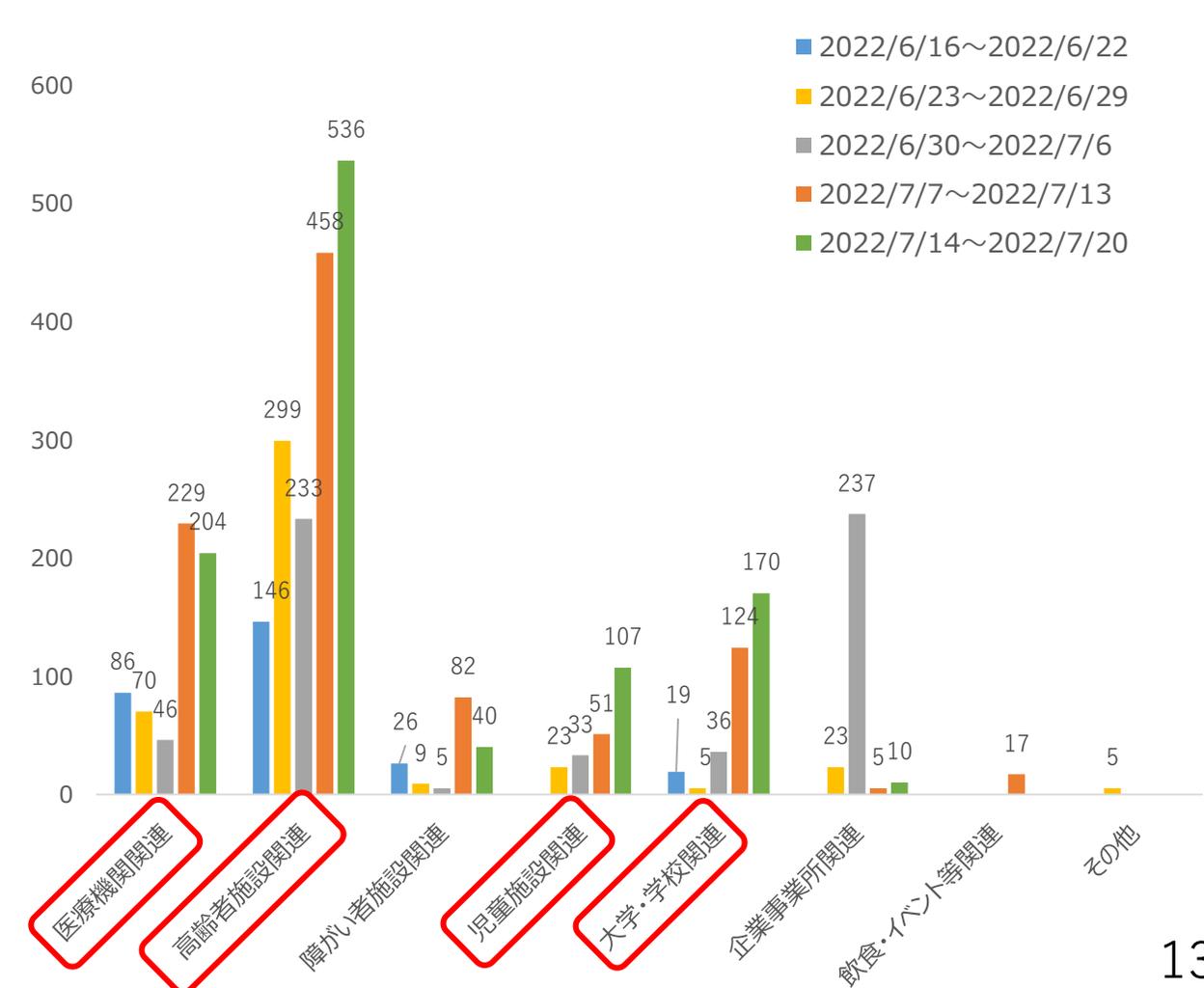
# クラスター状況【実数】（公表日別）（7月20日時点）

◆ 7月7日以降の直近2週間で、特に、医療機関関連や高齢者施設関連、児童施設関連、大学・学校関連において、クラスター発生施設数及び陽性者数が増加。

クラスターの施設数

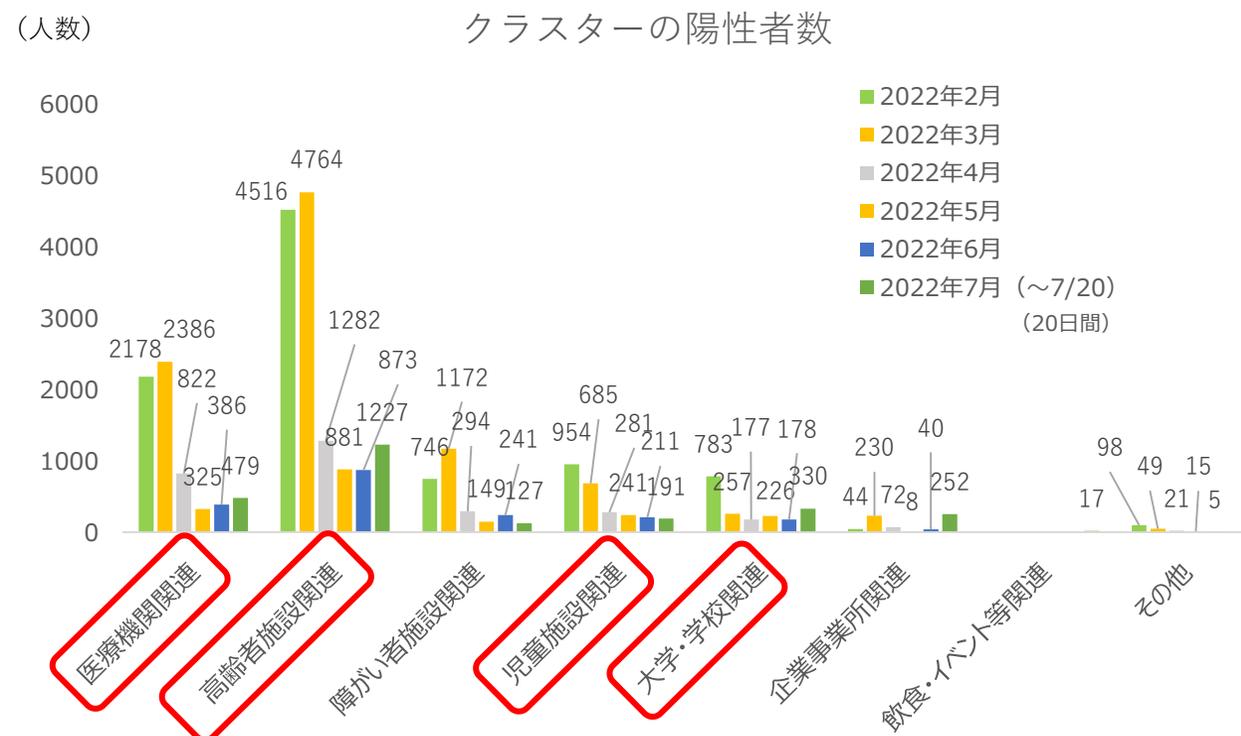
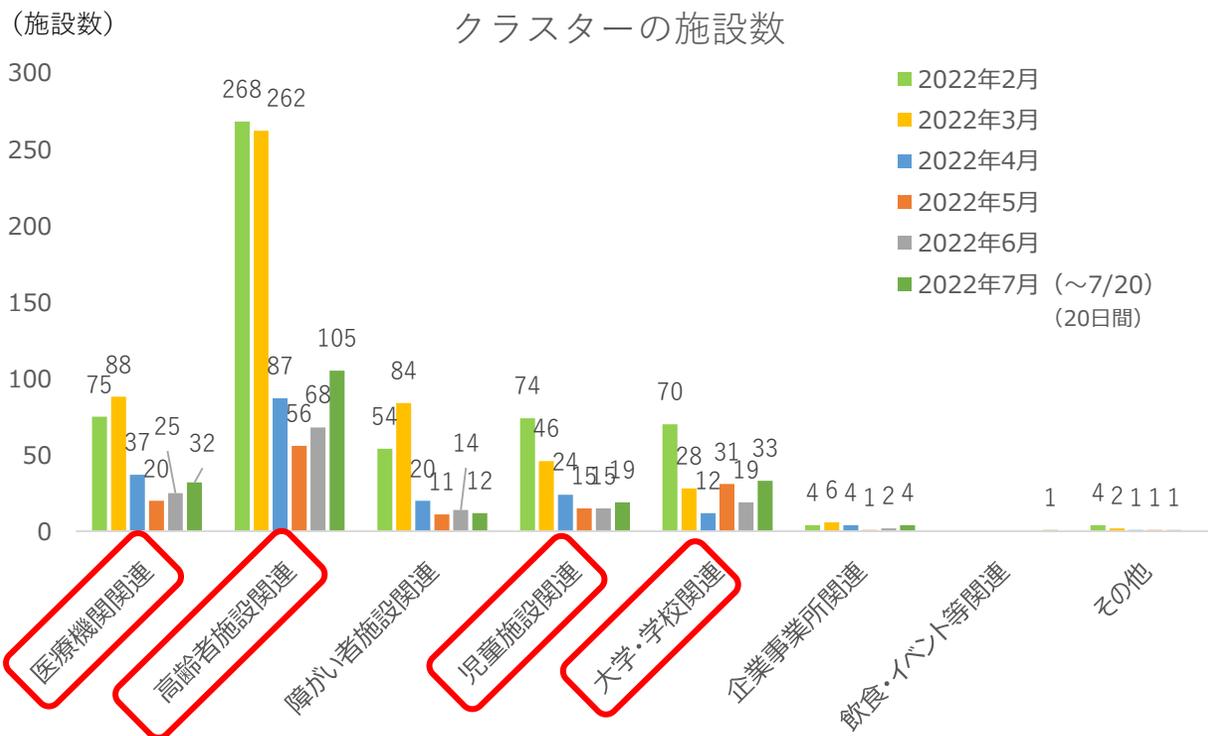


クラスターの陽性者数



# クラスター状況【実数】（月単位）（7月20日時点）

- ◆ 7月の20日間における医療機関関連や高齢者施設関連、児童施設関連、大学・学校関連のクラスター発生施設数及び陽性者数は、5月、6月を上回っている（児童施設関連は陽性者数のみ同程度）。
- ◆ 1施設あたりの陽性者数（単純計算）は、2月に比べやや減少（ただし、規模の大きいクラスターが一部存在）



【参考】1施設あたりの陽性者数（単純計算）

【参考】第六波の状況

	2月	3月	6月	7月（20日時点）
医療機関関連	29.0人 (2,178人/75施設)	27.1人 (2,386人/88施設)	15.4人 (386人/25施設)	15.0人 (479人/32施設)
高齢者施設関連	16.9人 (4,516人/268施設)	18.2人 (4,764人/262施設)	12.5人 (848人/68施設)	11.7人 (1,227人/105施設)

	第六波（R3.12.17-R4.6.24）	施設数	陽性者数
医療機関関連		268	6,601
高齢者施設関連		797	13,371

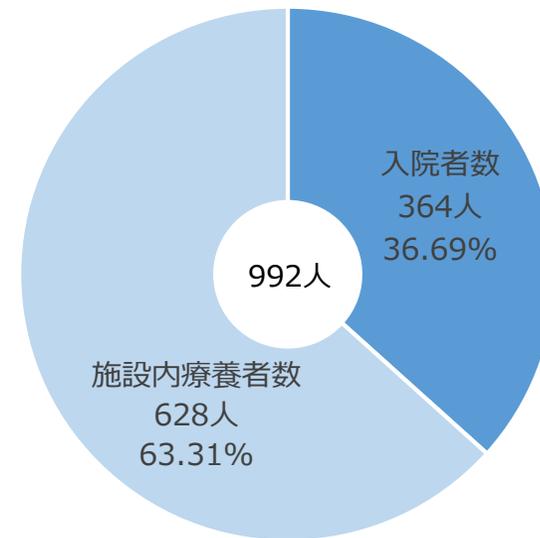
※ 7月は収束していないクラスターを含む。また、オミクロン株は感染性が高いため、規模の大きいクラスターが一部存在。

# 陽性者が複数発生している高齢者施設・障がい者施設（入所）での医療体制について

◆ 施設入所者の陽性者のうち、6割強が施設内で療養。この施設のうち9割弱に連携医療機関や連携医療機関以外の往診等による医療介入があり、その他施設においても、保健所等の健康観察で対応している。 公表クラスター以外も含めた陽性者複数発生施設データから分析：7月21日時点

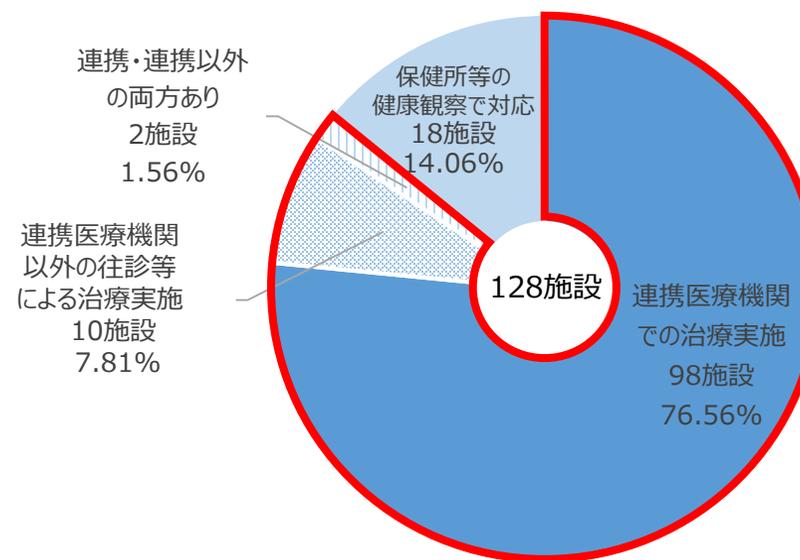
## <入所者における陽性者数>

陽性者が複数発生している施設数	128施設 (うち保健所の健康観察118施設)	
	うち連携医療機関のある施設	122施設
入所者における陽性者	992人	
	うち入院者数	364人
	うち施設内療養者数	628人



## <医療支援の状況>

施設数	医療支援の状況		
128施設	医療介入があった施設		
	110施設	連携医療機関での治療実施 施設数 (往診も含む)	98施設
		連携医療機関以外の往診等による治療実施 施設数	10施設
		連携医療機関、連携医療機関以外両方あり	2施設
18施設	保健所等の健康観察で対応		
	健康観察で療養中 (治療対象者がいないなど)	18施設	



※保健所からの報告により作成（令和4年7月21日時点）。感染が収束した施設は含めていない。

### 3 入院・療養状況

# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【重症】

◆ 重症病床使用率（コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数を除く）は、7月26日時点で6.6%と増加。今後、高齢者の陽性者数増加に伴い、重症者数も増加する可能性。

## ● 確保病床と使用率

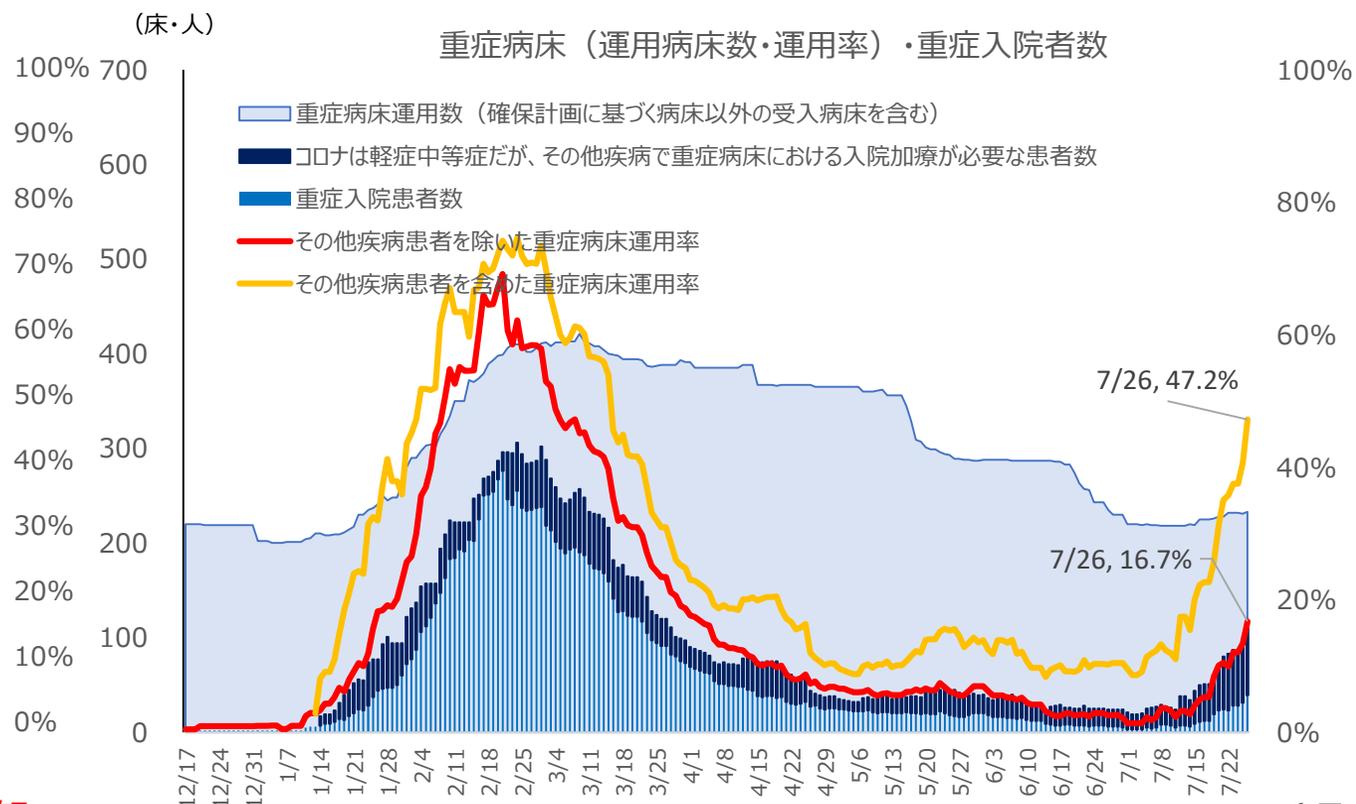
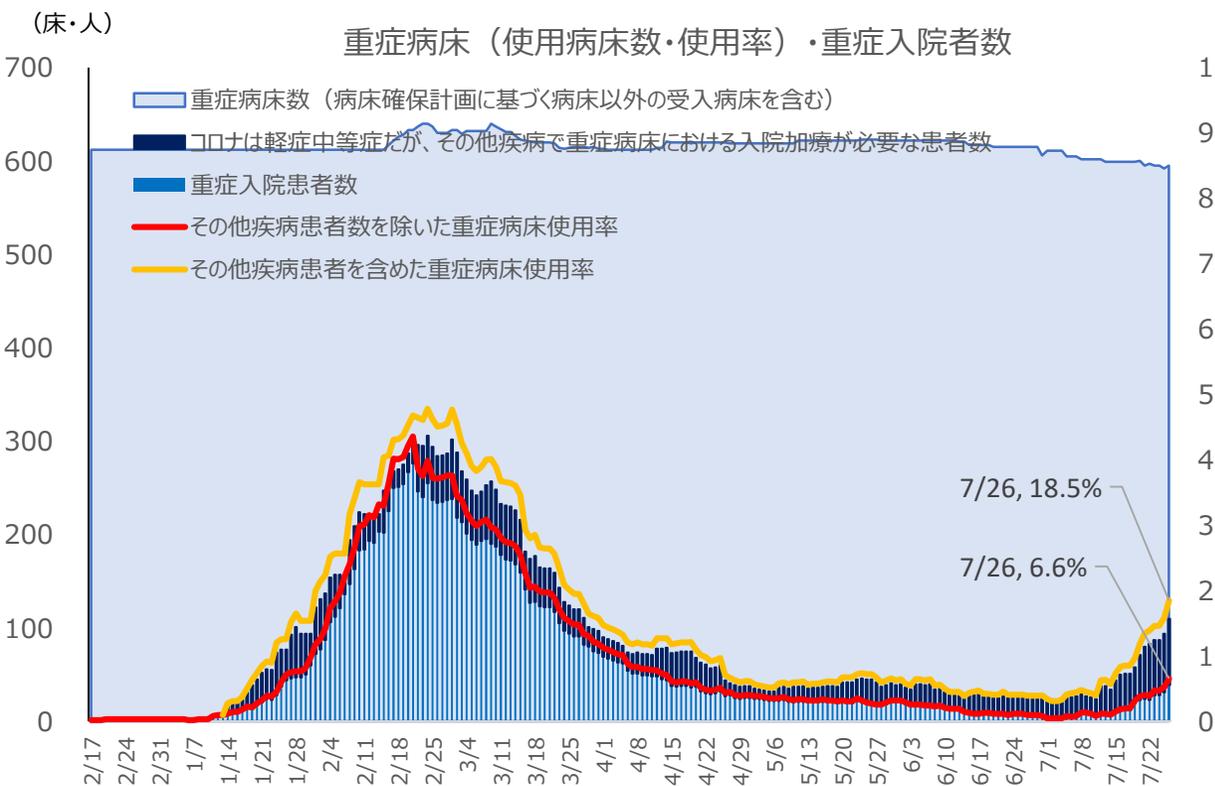
## ● 運用病床と運用率

**7月26日現在 病床使用6.6% (18.5%)**  
**病床数 595床 入院患者数 39人 (110人)**

**7月26日現在 病床運用率16.7% (47.2%)**  
**運用病床数 233床 入院患者数 39人 (110人)**

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床4床を含める  
 ※ ( ) の%、人数は、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数71人を含めた場合の率と患者数

※左記に同じ



※7月25日、受入医療機関に対し、フェーズ3への移行（同日付）を通知

# 新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況【軽症中等症】

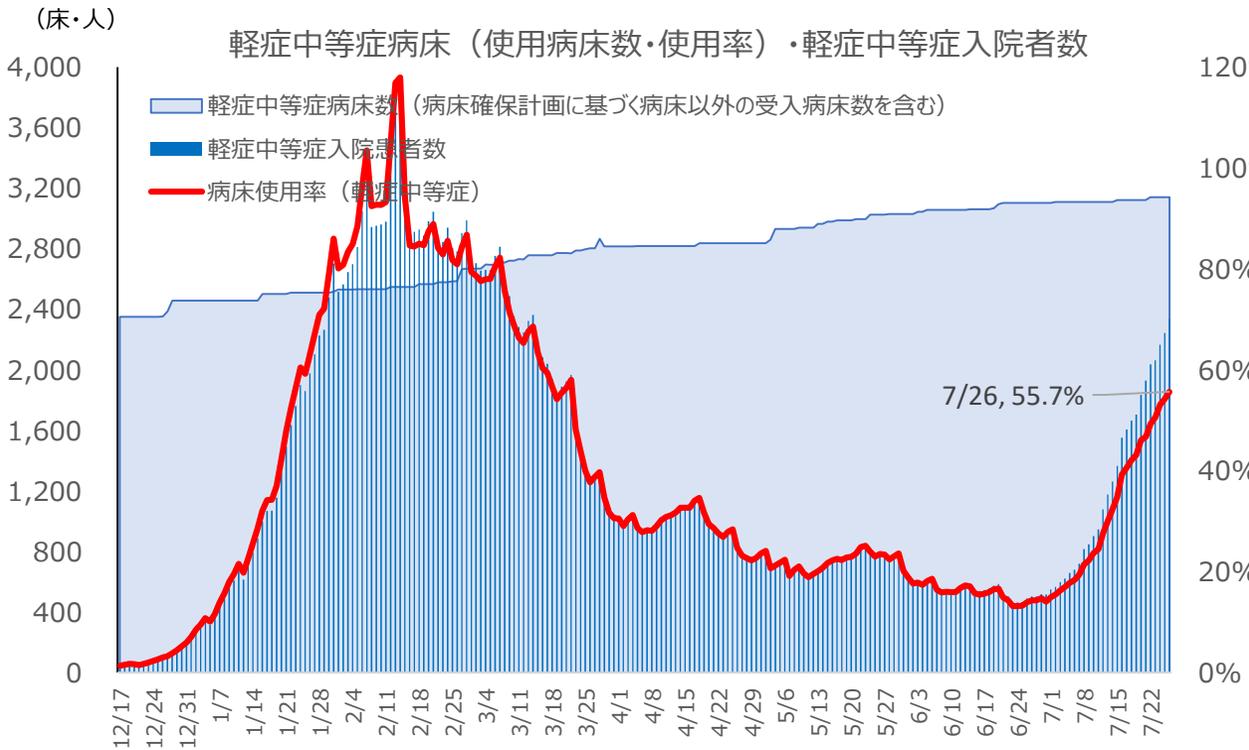
◆ 軽症中等症病床使用率は、7月26日時点で55.7%で急速に増加。運用率は約7割とひっ迫の傾向。

## ● 確保病床と使用率

7月26日現在 **病床使用率55.7%**

病床数 4,199床 入院患者数2,338人

※病床数には、病床確保計画に基づく確保病床以外の受入病床数132床を含める  
 ※患者数には、コロナは軽症中等症だが、その他疾病で重症病床における入院加療が必要な患者数71人を含める。

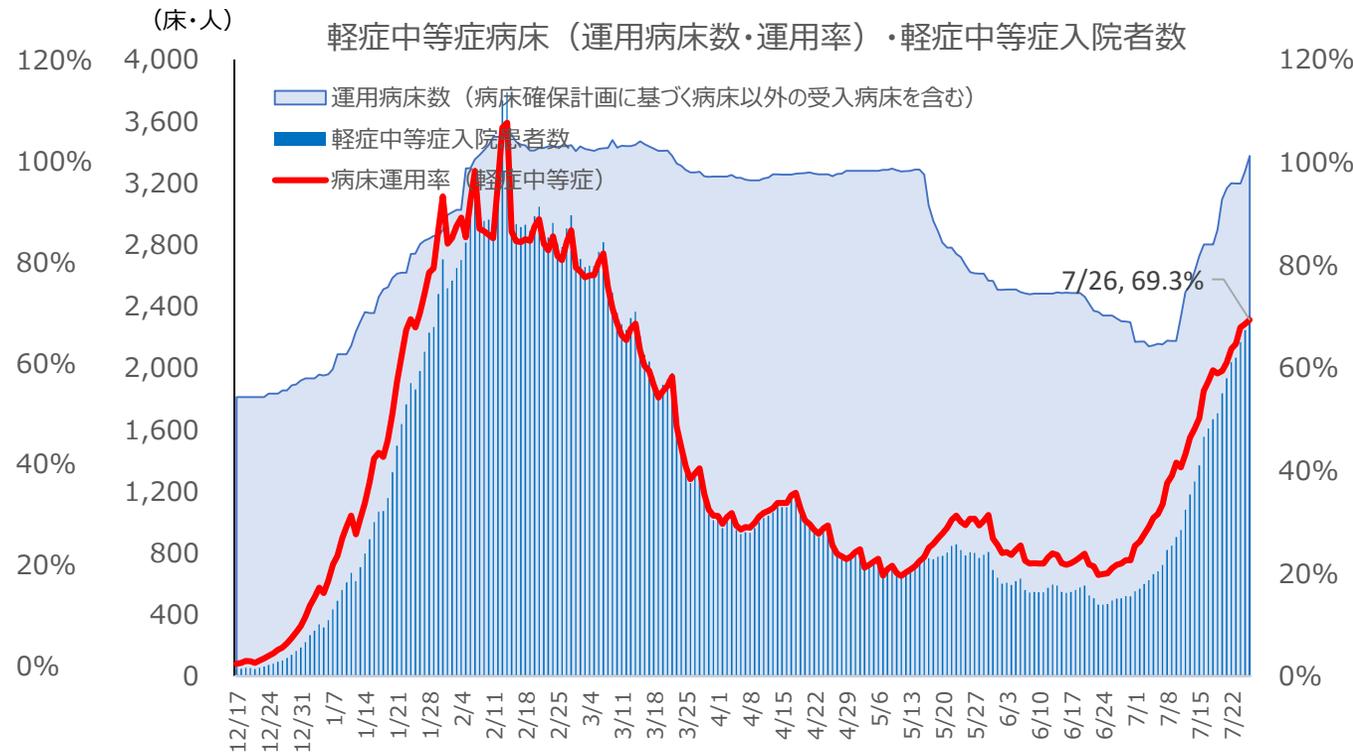


## ● 運用病床と運用率

7月26日現在 **病床運用率69.3%**

運用病床数 3,374床 入院患者数2,338人

※左記に同じ



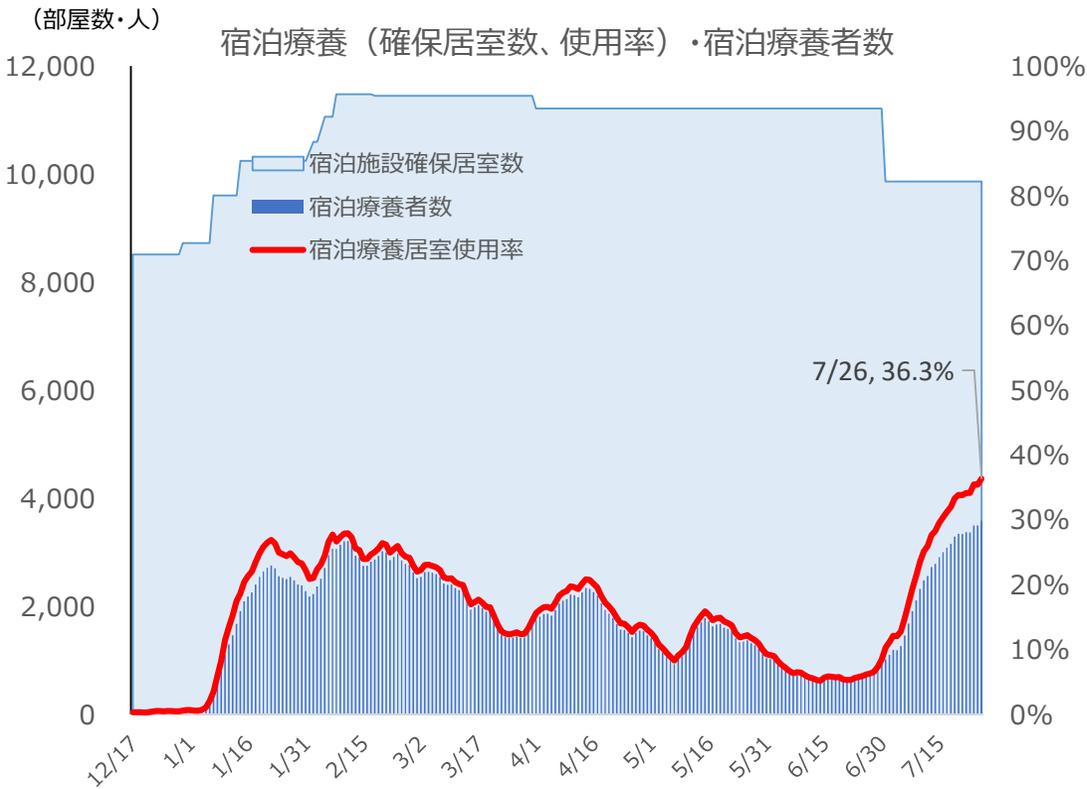
※7月21日、受入医療機関に対し、フェーズ5（緊急避難的確保病床を含む）への移行（8月4日～8月31日）を通知

# 新型コロナウイルス感染症宿泊・自宅療養者、入院・療養等調整中者数

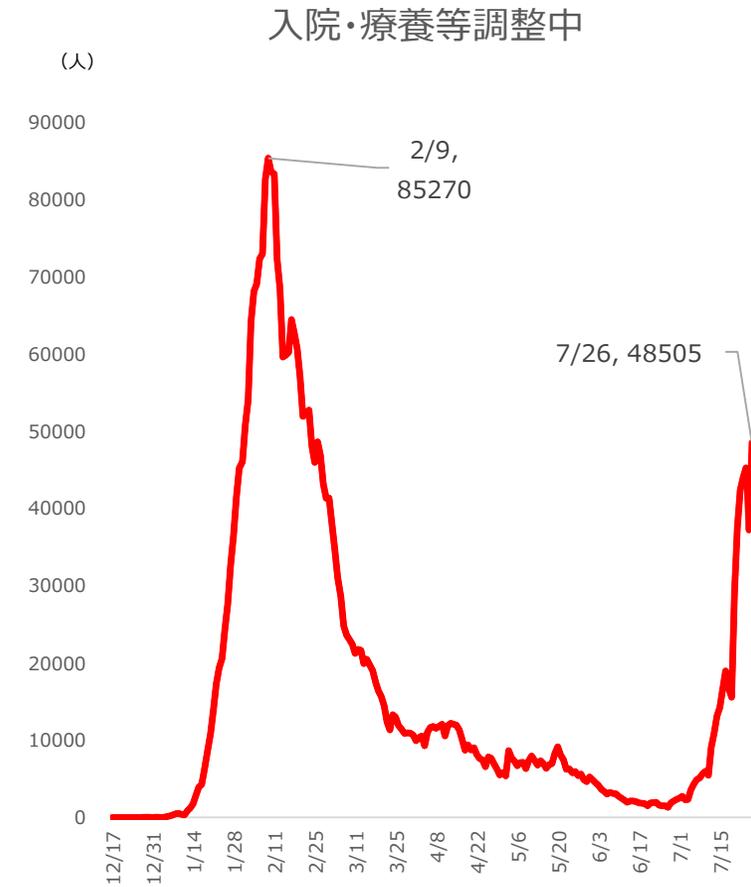
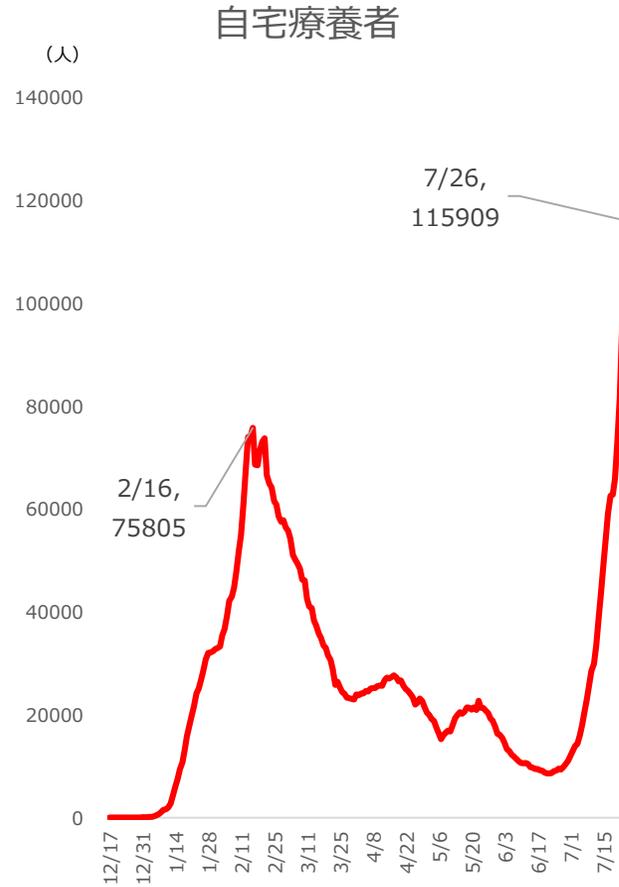
- ◆ 宿泊療養施設居室使用率は、7月26日時点で36.3%と急速に増加。
- ◆ 現在、自宅待機している方（自宅療養者数、入院・療養等調整中者数の合計）は164,414人で過去最多。

## ● 宿泊療養施設使用状況

**7月26日現在 使用率36.3%**  
**居室使用数9,861室 療養者数 3,582人**  
**運用率43.3%（運用居室数8,275室）**



## ● 自宅療養者数と入院・療養等調整中の数

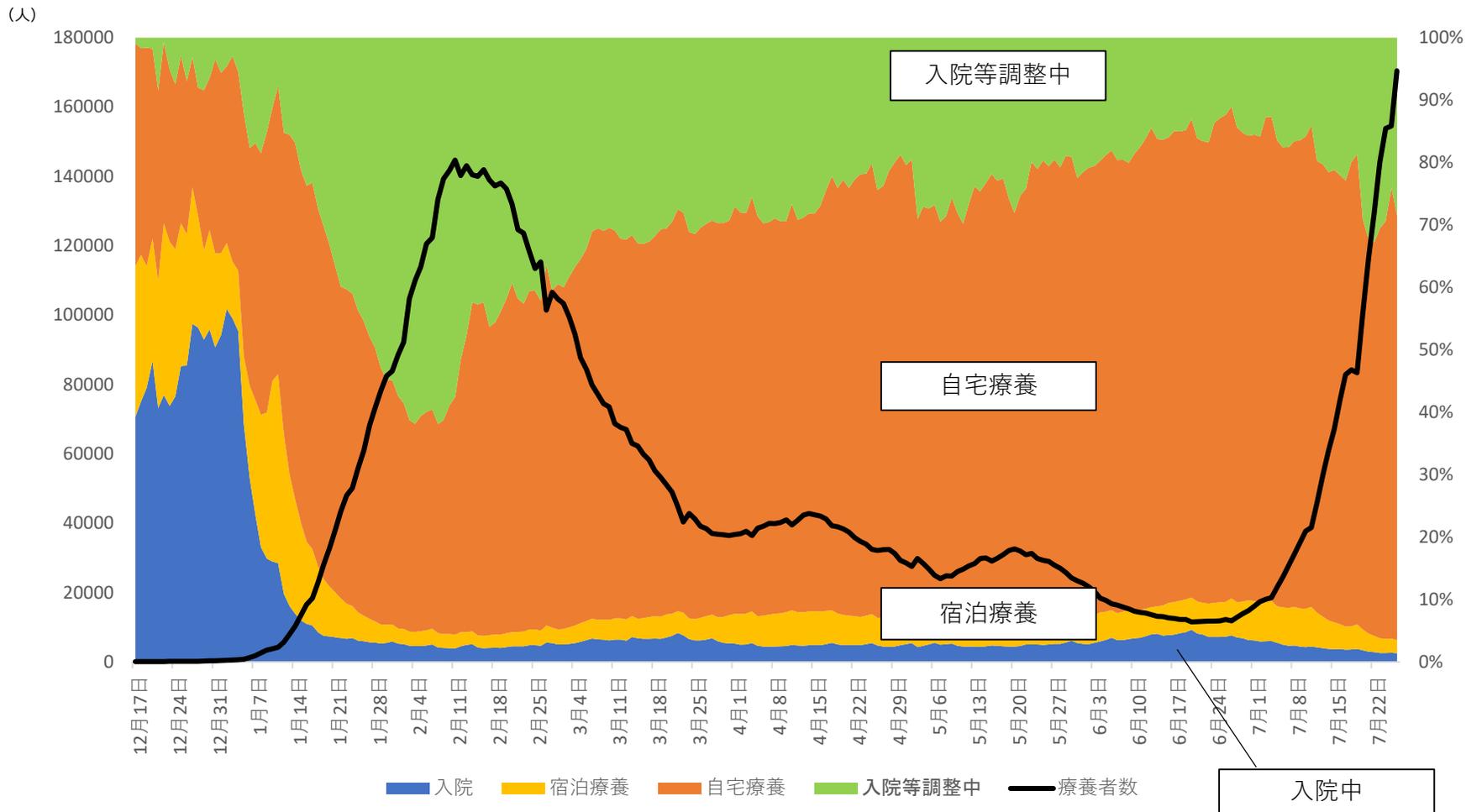


※7月13日、災害級非常事態（10000室）へ引上げ

# 入院・療養状況（7月26日時点）

◆ 入院率は、7月26日時点で1.4%と過去最低値。

（7月15日付で入院・療養の考え方（入院対象）を見直し、新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関等に通知）



	第六波 (2/11)	第七波 (7/15)	第七波 (7/26)
入院等調整中	57.6%	21.2%	28.5%
自宅療養	38.0%	72.4%	68.0%
宿泊療養	2.2%	4.3%	2.1%
入院中	2.2%	2.0%	1.4%
療養者数	144,639人	67,199人	170,373人

※ 1月5日に患者の全員入院対応を見直し。1月7日、1月25日に入院・宿泊療養対象を見直し。

※ 7月15日に入院対象を以下のとおり見直し。

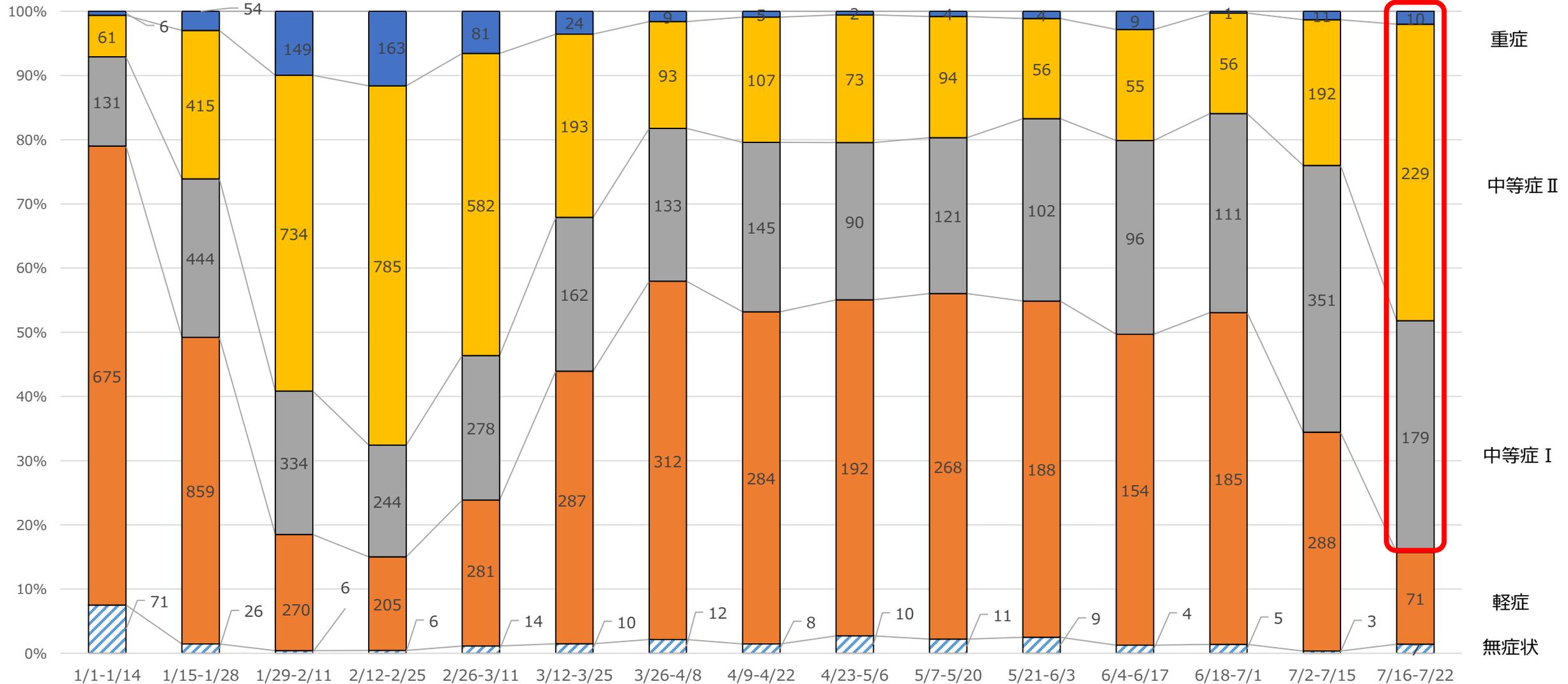
- ・原則、中等症患者を入院対象とする。
- ・ただし、上記に該当しない患者でも、中等度以上の基礎疾患等または合併症によって入院を必要とする患者は医師の判断により入院の対象。
- ・上記にかかわらず、リスク因子のない中等症 I の患者は、診療型宿泊療養施設、臨時の医療施設、宿泊療養施設、自宅や施設等での療養（通院を含む）を検討。

※第六波（2/11）は、最大療養者数となった日

※第七波（7/15）は、入院対象を見直し、医療機関に通知した日

# 入院調整時の入院患者の症状（7月22日時点）

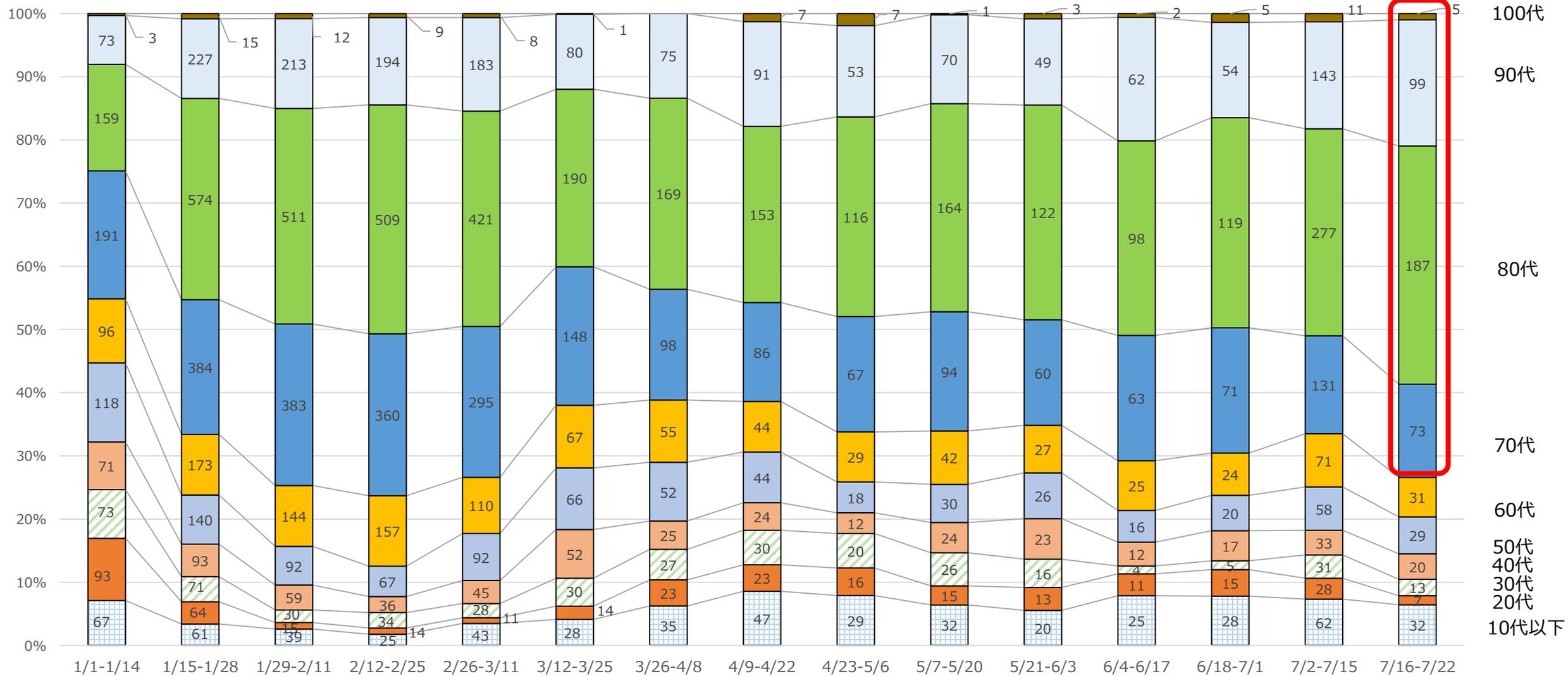
◆ 7月16日からの1週間における入院調整時の入院患者の症状は、中等症Ⅰ以上が8割以上に増加。  
 （7月15日付で入院・療養の考え方（入院対象）を見直し、新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関等に通知）



※入院調整時の患者の症状であり、入院後に症状が変化している可能性がある。 ※「大阪府療養者情報システム（O-CIS）」のデータに基づく。 ※症状不明を除く

# 入院調整時の入院患者の年代別割合（7月22日時点）

◆ 7月16日からの1週間における入院調整時の入院患者の年代割合は、70代以上が7割以上を占める。  
 （7月15日付で入院・療養の考え方（入院対象）を見直し、新型コロナウイルス感染症患者等受入医療機関等に通知）



※「大阪府療養者情報システム（O-CIS）」のデータに基づく。 ※年代不明を除く

# 小児症例に関する入院調整の状況について

- ◆ 入院フォローアップセンターの入院調整件数に占める小児症例の割合は、第六波(2/1~2/22)と比べ、第七波(7/1~7/22)は、約3倍に増加。
- ◆ 7月25日時点で、小児病床の運用率は約74%(81人/109床)。年代別では、0歳児が25人で最も多い。なお、第7波における平均入院日数は、0~9歳児で4.6日、10歳代で6.3日。

※小児症例：0歳~15歳(2006年4月2日以降生まれ)

## ■ 第六波[R4.2.1~2.22]

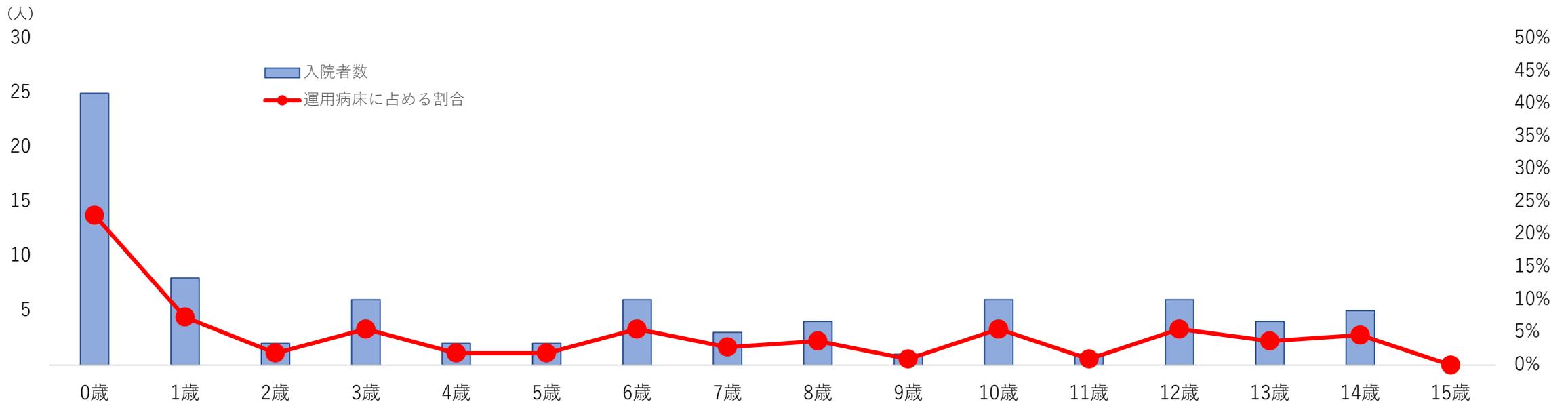
総調整件数 (A)	2,334件
うち小児の調整件数 (B)	48件
割合 (B/A)	2.1%

## ■ 第七波[R4.7.1~7.22]

総調整件数 (A')	1,422件
うち小児の調整件数 (B')	95件
割合 (B'/A')	6.7%

約3倍増加

## ■ 年代別の入院状況



# 一般救急患者の搬送困難事案件数

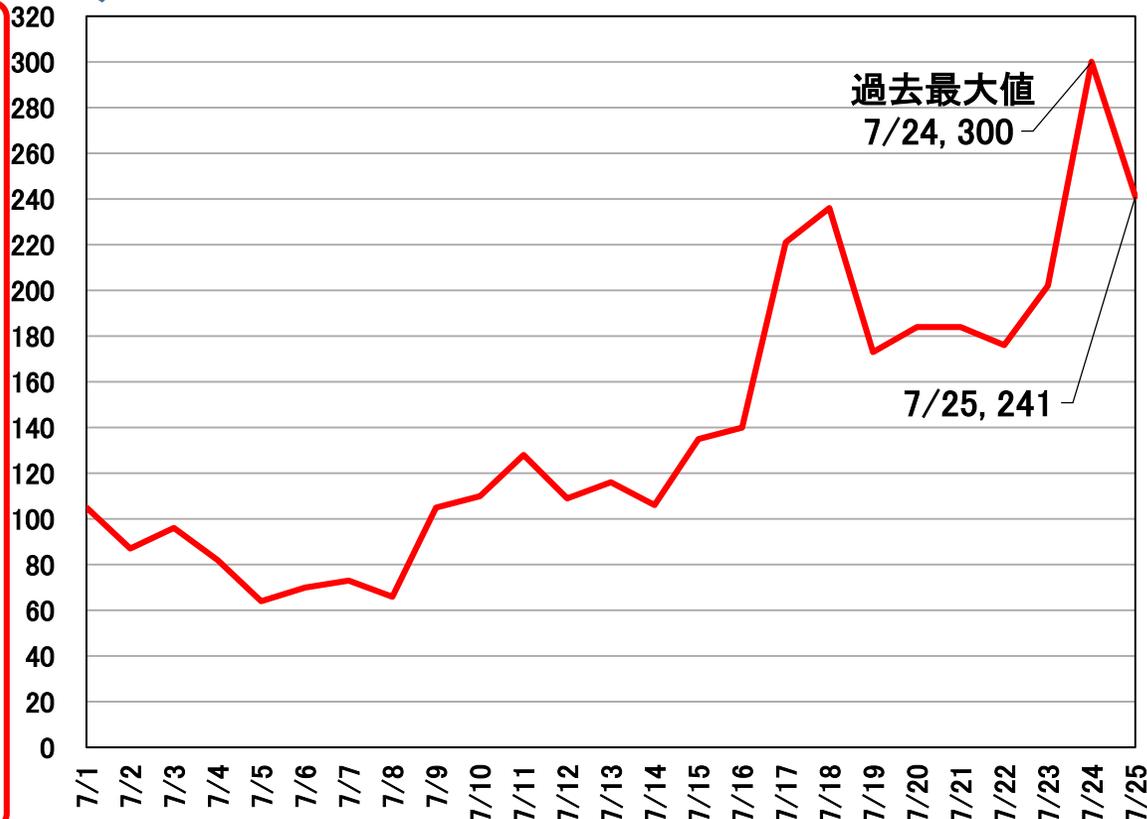
◆ 府内の救急搬送困難事案(※)の件数は7月中旬から急激に増加し、7月24日に第六波のピークを越えて過去最大値となった。

(※)「医療機関への受入照会回数4回以上」かつ「現場滞在時間30分以上」の事案

大阪府（全圏域）における搬送困難事案件数（令和3年6月以降）



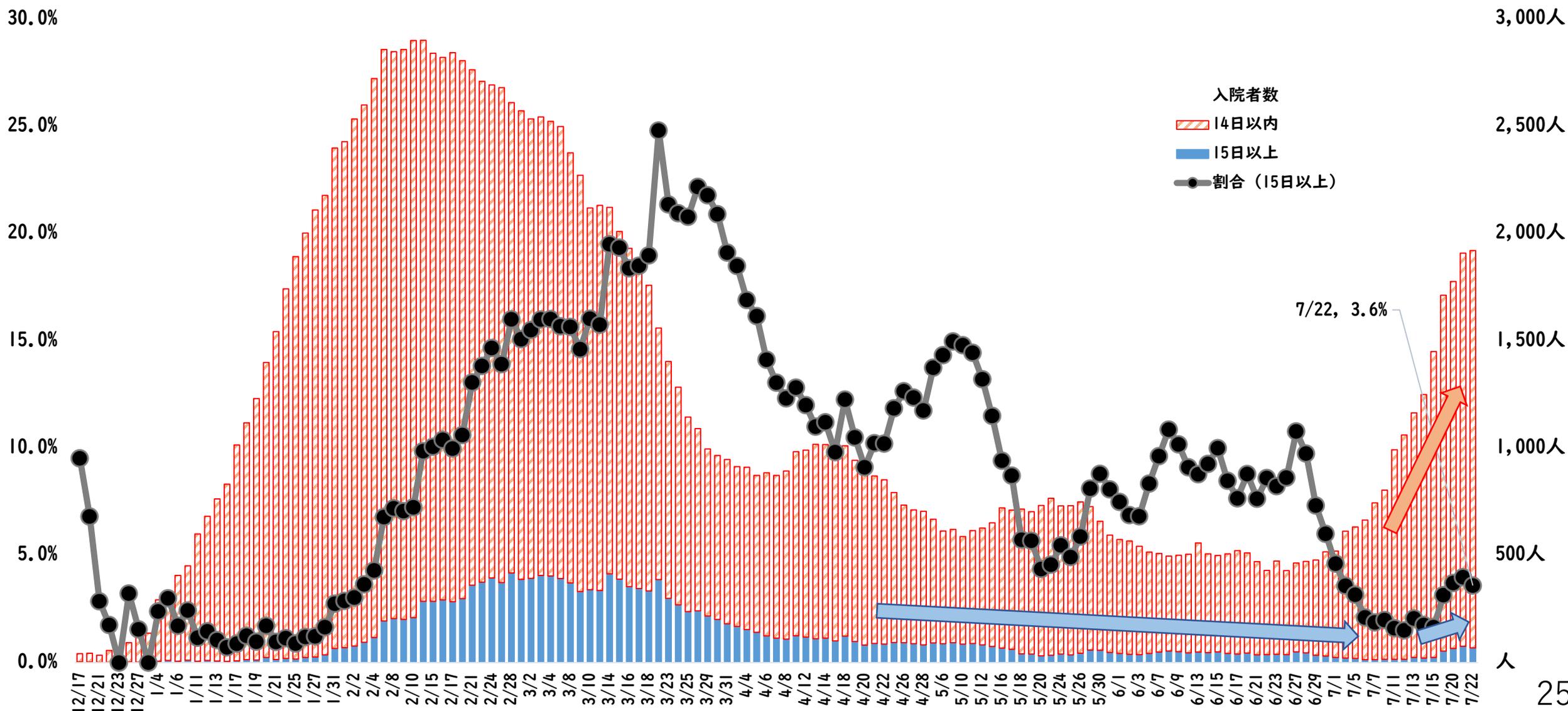
大阪府（全圏域）における搬送困難事案件数（令和4年7月1日以降）



# 軽症中等症病床における長期入院患者の状況（15日以上入院患者の推移）（7月22日時点）

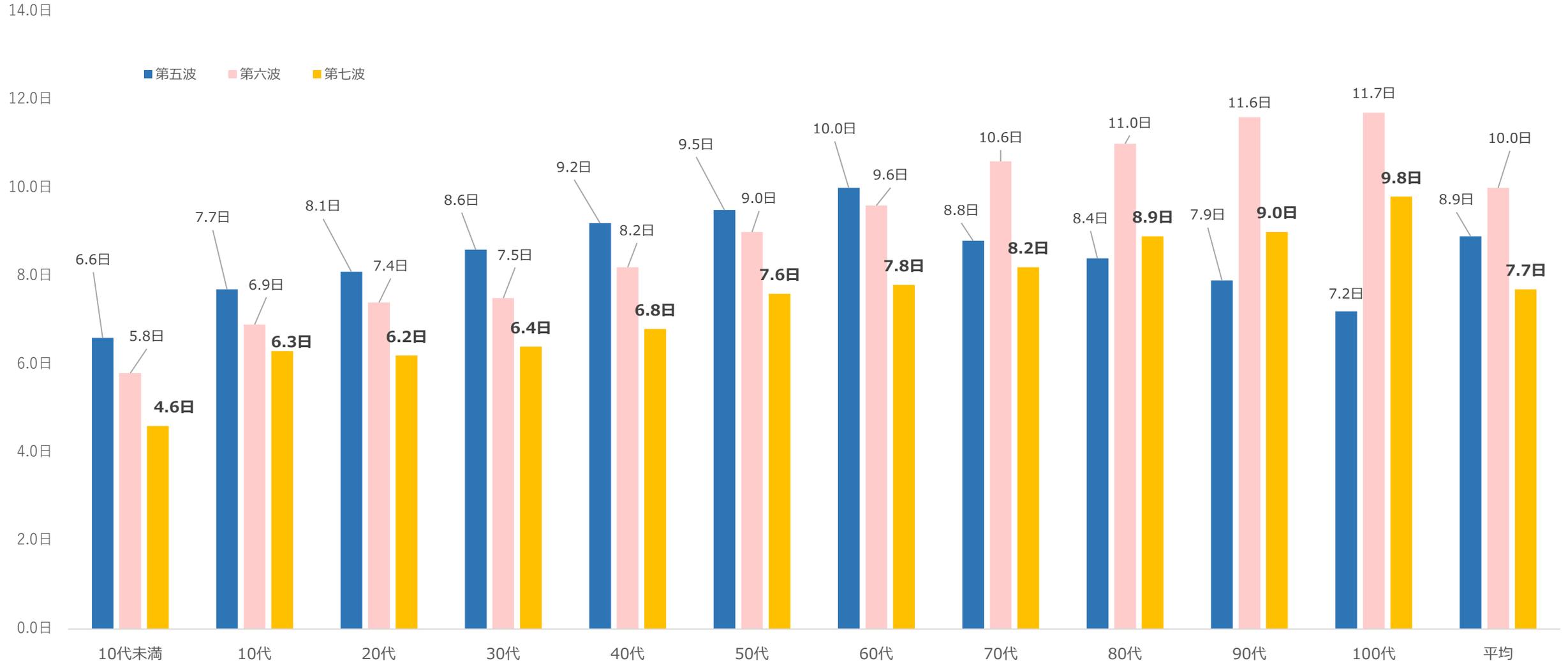
◆ 入院15日以上患者数は減少が続いていたが、7月中旬より増加し、7月22日時点で69人（全体比3.6%）。

◆ 入院15日未満患者数は、7月以降、増加。



# 第五波～第七波 軽症中等症病床における入院患者の平均入院日数（7月22日時点）

◆ 第七波における軽症中等症病床の入院患者の平均入院日数は7.7日で、第五波（8.9日）や第六波（10.0日）より短い。



※第五波はR3.6.21～R3.12.16の間、第六波は、R3.12.17～R4.6.24の間、第七波はR4.6.25以降に陽性が判明した患者で退院済の者を計上  
 ※陽性判明日が不明の患者は除く

## 4 重症・死亡例のまとめ

# 年代別重症化率の推移（陽性判明日別）（令和4年7月17日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（令和3年4/6～7/12、令和4年2/16～4/12）や他府県で受け入れている重症者（令和3年4/22～5/10）を含む。

重症化率	第一波 (R2/1/29-6/13)			第二波 (R2/6/14-10/9)			第三波 (R2/10/10- R3/2/28)			第四波 (R3/3/1-6/20)			第五波 (R3/6/21-12/16)			第六波 (R3/12/17- R4/6/24)			第七波（7/17時点） (R4/6/25-)		
	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率	新規陽性者数	重症者数	重症化率
未就学児	19	0	0.0%	157	0	0.0%	689	1	0.1%	1256	1	0.1%	4858	0	0.0%	67580	10	0.01%	7900	2	0.03%
就学児	13	0	0.0%	61	0	0.0%	336	0	0.0%	742	0	0.0%	3121	0	0.0%	52642	3	0.01%	7617	0	0.00%
10代	47	1	2.1%	621	0	0.0%	2679	0	0.0%	4631	1	0.0%	14445	3	0.0%	129471	7	0.01%	20959	0	0.00%
20代	364	2	0.5%	2996	1	0.0%	7079	2	0.0%	12138	21	0.2%	27012	25	0.1%	133701	12	0.01%	18997	0	0.00%
30代	290	5	1.7%	1424	2	0.1%	4654	14	0.3%	7640	40	0.5%	17066	74	0.4%	122358	10	0.01%	16754	1	0.01%
40代	306	13	4.2%	1160	14	1.2%	4851	42	0.9%	8223	146	1.8%	15521	229	1.5%	118783	47	0.04%	16390	1	0.01%
50代	258	23	8.9%	1047	38	3.6%	4994	142	2.8%	7622	348	4.6%	10942	324	3.0%	75101	79	0.11%	11367	4	0.04%
60代	161	35	21.7%	628	49	7.8%	3393	246	7.3%	4582	420	9.2%	3690	181	4.9%	37402	122	0.33%	5456	3	0.05%
70代	176	49	27.8%	580	79	13.6%	3657	451	12.3%	4378	564	12.9%	2221	121	5.4%	30453	339	1.11%	3999	2	0.05%
80代	118	18	15.3%	449	46	10.2%	2797	224	8.0%	3021	200	6.6%	1494	61	4.1%	23230	227	0.98%	2403	2	0.08%
90代	30	1	3.3%	145	3	2.1%	899	26	2.9%	923	16	1.7%	397	6	1.5%	8596	39	0.45%	778	1	0.13%
100代	4	0	0.0%	3	0	0.0%	36	0	0.0%	46	0	0.0%	19	0	0.0%	431	3	0.70%	39	0	0.00%
【再】 70代以上	328	68	20.7%	1177	128	10.9%	7389	701	9.5%	8368	780	9.3%	4131	188	4.6%	62710	608	0.97%	7219	5	0.07%
総計	1786	147	8.2%	9271	232	2.5%	36064	1148	3.2%	55318	1757	3.2%	100891	1024	1.0%	800933	898	0.11%	112729	16	0.01%

※重症化率：新規陽性者数に占める重症者の割合。

※重症化率は7月17日判明時点までの重症者数に基づく。今後、重症者数・新規陽性者数の推移により変動

# 年代別死亡率の推移（陽性判明日別）（令和4年7月17日時点）

死亡率	第一波 (R2/1/29-6/13)			第二波 (R2/6/14-10/9)			第三波 (R2/10/10- R3/2/28)			第四波 (R3/3/1-6/20)			第五波 (R3/6/21-12/16)			第六波 (R3/12/17- R4/6/24)			第七波（7/17時点） (R4/6/25-)		
	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率	新規陽性者数	死亡者数	死亡率
未就学児	19	0	0.0%	157	0	0.0%	689	0	0.0%	1256	0	0.0%	4858	0	0.0%	67580	0	0.00%	7900	0	0.00%
就学児	13	0	0.0%	61	0	0.0%	336	0	0.0%	742	0	0.0%	3121	0	0.0%	52642	0	0.00%	7617	0	0.00%
10代	47	0	0.0%	621	0	0.0%	2679	0	0.0%	4631	0	0.0%	14445	1	0.0%	129471	1	0.00%	20959	0	0.00%
20代	364	0	0.0%	2996	0	0.0%	7079	0	0.0%	12138	1	0.0%	27012	0	0.0%	133701	0	0.00%	18997	0	0.00%
30代	290	0	0.0%	1424	0	0.0%	4654	1	0.0%	7640	6	0.1%	17066	4	0.0%	122358	0	0.00%	16754	0	0.00%
40代	306	3	1.0%	1160	0	0.0%	4851	3	0.1%	8223	19	0.2%	15521	19	0.1%	118783	16	0.01%	16390	0	0.00%
50代	258	3	1.2%	1047	4	0.4%	4994	14	0.3%	7622	69	0.9%	10942	44	0.4%	75101	41	0.05%	11367	4	0.04%
60代	161	9	5.6%	628	13	2.1%	3393	55	1.6%	4582	137	3.0%	3690	48	1.3%	37402	110	0.29%	5456	2	0.04%
70代	176	29	16.5%	580	31	5.3%	3657	239	6.5%	4378	433	9.9%	2221	80	3.6%	30453	489	1.61%	3999	3	0.08%
80代	118	31	26.3%	449	70	15.6%	2797	414	14.8%	3021	606	20.1%	1494	120	8.0%	23230	920	3.96%	2403	5	0.21%
90代	30	10	33.3%	145	24	16.6%	899	202	22.5%	923	258	28.0%	397	38	9.6%	8596	539	6.27%	778	1	0.13%
100代	4	2	50.0%	3	0	0.0%	36	10	27.8%	46	11	23.9%	19	4	21.1%	431	35	8.12%	39	2	5.13%
【再】 70代以上	328	72	22.0%	1177	125	10.6%	7389	865	11.7%	8368	1308	15.6%	4131	242	5.9%	62710	1983	3.16%	7219	11	0.15%
総計	1786	87	4.9%	9271	142	1.5%	36064	938	2.6%	55318	1540	2.8%	100891	358	0.4%	800933	2151	0.27%	112729	17	0.02%

※死亡率：新規陽性者数に占める死亡者の割合。

※死亡率は7月17日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動

# 【第五波以降】重症者のまとめ（令和4年7月17日時点）

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において治療継続をしている重症者（令和3年4/6～7/12、令和4年2/16～4/12）や他府県で受け入れている重症者（令和3年4/22～5/10）を含む。

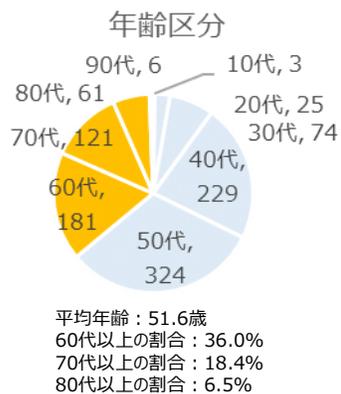
## 第五波（2021/6/21～12/16）

新規陽性者数	100,891
(再掲)40代以上(割合)	34,284(34.0%)
(再掲)60代以上(割合)	7,821(7.8%)
重症者数	1,024
死亡	142
退院・解除	882
入院中（軽症）	0
入院中（重症）	0

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が5例あり

### ■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：2.7%(922/34,284)  
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：4.7%(369/7,821)  
 全陽性者数に占める重症者の割合：1.0%(1,024/100,891)



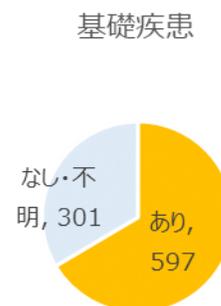
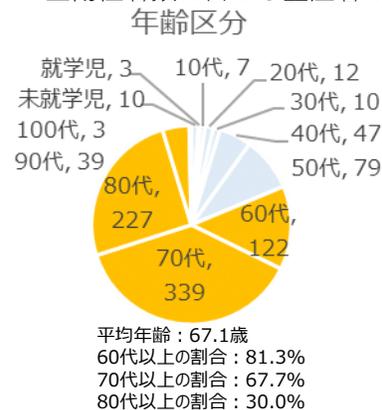
## 第六波（12/17～2022/6/24）

新規陽性者数	800,933
(再掲)40代以上(割合)	293,996(36.7%)
(再掲)60代以上(割合)	100,112(12.5%)
重症者数	898
死亡	230
退院・解除	661
入院中（軽症）	6
入院中（重症）	1

※軽症化後の情報把握のため報道提供していない事例が22例あり

### ■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.3%(856/293,996)  
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.7%(730/100,112)  
 全陽性者数に占める重症者の割合：0.11%(898/800,933)

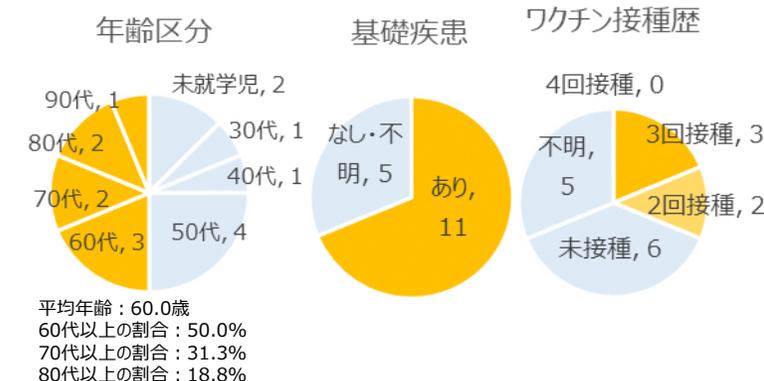


## 第七波（2022/6/25以降）

新規陽性者数	112,729
(再掲)40代以上(割合)	40,432(35.9%)
(再掲)60代以上(割合)	12,675(11.2%)
重症者数	16
死亡	1
退院・解除	0
入院中（軽症）	4
入院中（重症）	11

### ■重症者の割合

40代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.03%(13/40,432)  
 60代以上の陽性者に占める重症者の割合：0.06%(8/12,675)  
 全陽性者数に占める重症者の割合：0.01%(16/112,729)



※重症率は7月17日判明時点までの重症者数に基づく。今後、重症者数・新規陽性者数の推移により変動  
 ※ワクチン接種状況は保健所による聞き取りやHER-SYSデータに基づく（7月17日判明時点）

# 【第五波以降】死亡例のまとめ（令和4年7月17日時点）

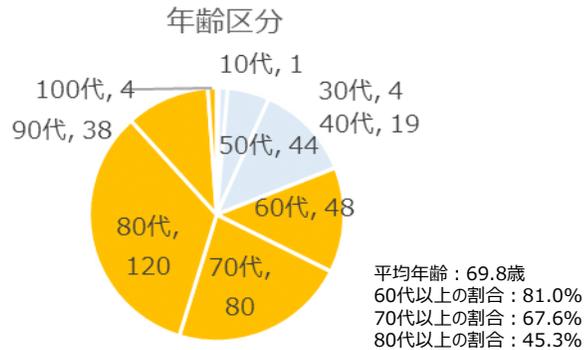
※死亡率：新規陽性者数に占める死亡者の割合

## 第五波（2021/6/21～12/16）

新規陽性者数	100,891
(再掲)40代以上(割合)	34,284(34.0%)
(再掲)60代以上(割合)	7,821(7.8%)
死亡者数	358

### ■死亡例の割合

40以上の陽性者に占める死亡例の割合：1.0%(353/34,284)  
 60以上の陽性者に占める死亡例の割合：3.7%(290/7,821)  
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.4%(358/100,891)



### 基礎疾患

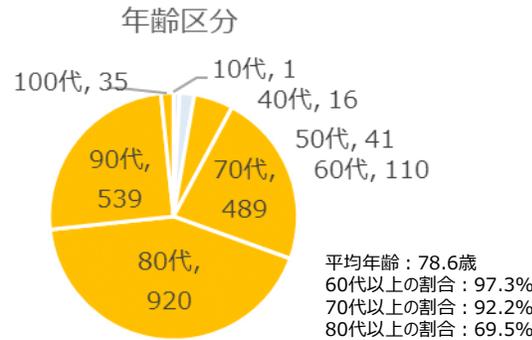


## 第六波（12/17～2022/6/24）

新規陽性者数	800,933
(再掲)40代以上(割合)	293,996(36.7%)
(再掲)60代以上(割合)	100,112(12.5%)
死亡者数	2,151

### ■死亡例の割合

40以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.7%(2,150/293,996)  
 60以上の陽性者に占める死亡例の割合：2.1%(2,093/100,112)  
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.27%(2,151/800,933)



### 基礎疾患

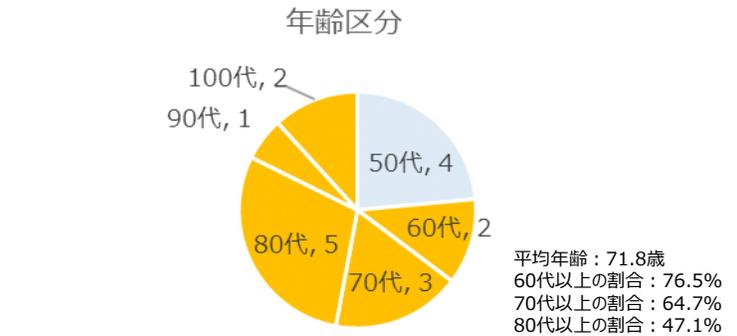


## 第七波（2022/6/25以降）

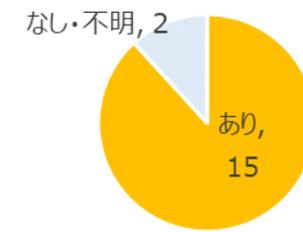
新規陽性者数	112,729
(再掲)40代以上(割合)	40,432(35.9%)
(再掲)60代以上(割合)	12,675(11.2%)
死亡者数	17

### ■死亡例の割合

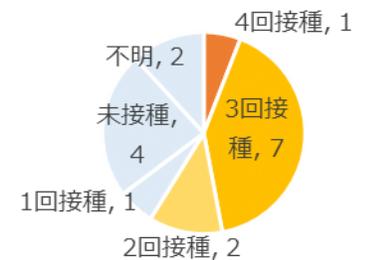
40以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.04%(17/40,432)  
 60以上の陽性者に占める死亡例の割合：0.10%(13/12,675)  
 全陽性者数に占める死亡例の割合：0.02%(17/112,729)



### 基礎疾患



### ワクチン接種歴



※死亡率は7月17日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数の推移により変動

※死亡率は7月17日判明時点までの死亡者数に基づく。今後、死亡者数・新規陽性者数の推移により変動  
 ※ワクチン接種状況は保健所による聞き取りやHER-SYSデータに基づく（7月17日判明時点）

# 5 第七波における大規模な感染拡大に伴う 非常事態とその対応について

# 大阪モデル「非常事態」への移行（赤信号点灯）について

## 【令和4年5月18日第76回対策本部会議決定事項（「大阪モデルの見直しについて」）】

◆ ステージ移行については、指標の目安の到達状況を踏まえつつ、感染状況や医療提供体制の状況、感染拡大の契機も十分に考慮し、専門家の意見を聴取したうえで、対策本部会議で決定する。

### 【大阪モデルの状況】

◆ 7月27日に病床使用率が「非常事態（赤信号）」の目安に到達見込み。

	警戒の目安	7/21	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27
1. 直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	明らかな増加傾向	984.63	1100.39	1215.51	1290.78	1323.97	1559.28	
2. 病床使用率	50%以上	41.4%	43.6%	44.8%	47.0%	48.1%	49.6%	約52% (速報値)
3. 重症病床使用率	40%以上	4.0%	3.9%	4.7%	4.7%	5.2%	6.6%	
信号	1 かつ 2または3の目安に達した場合 赤							

○新規陽性者数は7月20日以降、2万人規模で推移（26日に過去最多25,762人）。

○BA.5系統への置き換わりが進み（変異株スクリーニング検査におけるBA.5系統又はBA.4系統の疑いのある株の検出率 7/18～7/24 約82.5%）、夏休みなど感染機会の増加による影響等から、当面、極めて大規模な感染が続くと考えられる。

○大規模な感染の継続に伴い、検査体制や保健・医療療養体制への負荷が急速に増大しており、ひっ迫が見られる。

⇒現在の感染拡大状況等を踏まえ、本日、病床使用率の目安に到達することが見込まれることから、

**「警戒（黄信号）」から「非常事態（赤信号）」に移行する。（適用日：7月27日）**

# 第七波の感染拡大を踏まえた入院対象について

令和4年7月15日 第24回新型コロナウイルス感染症対策協議会において意見聴取の上、改定

## 【府における入院・療養の考え方(目安)】 (感染拡大期)

- ・第六波以上の感染規模が想定される中、入院対象を原則として中等症Ⅱ及び中等症Ⅰとする
- ・隔離解除前であってもコロナの入院治療が終われば、医師が退院可能の判断を行う。
- ・退院後は管轄の保健所が療養継続(療養場所の調整等)を実施。
- ・目的が患者の隔離のみの場合は入院の対象としない。

### 現在の入院対象

(中等症Ⅱ)

- ・ SpO2が $\leq 93\%$  (中等症Ⅱ) は緊急対応

(中等症Ⅰ・軽症)

- ①原則65歳以上で発熱が続くなど中等症への移行が懸念される患者
- ②SpO2 $< 96\%$ または息切れや肺炎所見あり
- ③重症化リスク (BMI30以上や基礎疾患等) で発熱が続くなど中等症への移行が懸念される患者
- ④その他中等度以上の基礎疾患等または合併症によって入院を必要とする患者

※上記に該当しない患者でも、保健所や入院フォローアップセンターが、患者を診察した医師の意見を踏まえ判断した患者は入院の対象

大阪府新型コロナウイルス感染症対策協議会資料(令和4年6月16日同意)抜粋

### 感染拡大期の入院対象

#### 中等症Ⅱ及び中等症Ⅰの患者

中等症Ⅱ : SpO2  $\leq 93\%$ または酸素投与が必要な患者

中等症Ⅰ :  $93\% < \text{SpO2} < 96\%$ または肺炎所見ありの患者

※上記に該当しない患者でも、中等度以上の基礎疾患等または合併症によって入院を必要とする患者は医師の判断により入院の対象。

※上記に関わらず、リスク因子のない中等症Ⅰは、診療型宿泊療養施設、臨時の医療施設、宿泊療養施設、自宅や施設等での療養(通院を含む)を検討。

※今後の感染拡大の状況に応じて、随時見直すこととする

# 第七波における大規模な感染状況に伴う非常事態とその対応について

## 1 検査需要が急激に増大し、医療機関の外来体制が極めてひっ迫（一部の医療機関に負担が偏在）

現状		主な対策																								
<p>◆検査件数：44,047件（7/21過去最多）陽性率57.5%（7/26過去最多）※上記の他、無料検査を約8万件/週実施</p> <p>◆診療・検査医療機関の状況（7/19時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">全施設</th> <th rowspan="2">指定数</th> <th colspan="2">かかりつけ患者以外も可</th> </tr> <tr> <th>かかりつけ患者以外も可</th> <th>かかりつけ患者のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院</td> <td>509施設</td> <td>342施設</td> <td>182施設</td> <td>160施設</td> </tr> <tr> <td>診療所</td> <td>8,750施設</td> <td>2,321施設</td> <td>997施設</td> <td>1,324施設</td> </tr> <tr> <td>医療機関計</td> <td>9,259施設</td> <td>2,663施設</td> <td>1,179施設</td> <td>1,484施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆日曜・祝日開設医療機関(7/24時点) 206施設（病院 49施設、診療所 157施設）</p> <p>➡ <b>有症状者全員が迅速に診療・検査を受けることが困難</b></p>			全施設	指定数	かかりつけ患者以外も可		かかりつけ患者以外も可	かかりつけ患者のみ	病院	509施設	342施設	182施設	160施設	診療所	8,750施設	2,321施設	997施設	1,324施設	医療機関計	9,259施設	2,663施設	1,179施設	1,484施設	<p>■ <b>診療・検査医療機関等における外来体制の強化（特に日曜・祝日における体制拡充）</b> 【取組中】</p> <p>①診療・検査医療機関等の外来体制の強化 ・府医師会に対し、検査未実施の医療機関における検査実施を要請(7/22)</p> <p>②日曜・祝日開設医療機関の拡充 ・日曜・祝日開設医療機関のリストをホームページ上で公表 診療区分（A型、B型）と開設時間に応じて支援金支給</p> <p>■ <b>発熱外来ひっ迫時における診療・検査医療機関受診対象重点化の検討</b> &lt;&lt;詳細 P37&gt;&gt; 【新規】</p>		
	全施設				指定数	かかりつけ患者以外も可																				
		かかりつけ患者以外も可	かかりつけ患者のみ																							
病院	509施設	342施設	182施設	160施設																						
診療所	8,750施設	2,321施設	997施設	1,324施設																						
医療機関計	9,259施設	2,663施設	1,179施設	1,484施設																						

## 2 保健所体制が極めてひっ迫

現状		主な対策		
<p>◆1日2万人を超過する陽性者対応等のため、保健所業務が極めてひっ迫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点化を要する60代以上の高齢者（ハイリスク者）は、連日1日3,000人前後（7/26時点 3,661人）</li> <li>・医療機関関連や高齢者施設関連等クラスターが急増し、対応が必要</li> </ul> <p>➡ <b>重症化リスクの高い高齢者等への対応が円滑に進まなくなるおそれ</b></p>		<p>■ <b>業務の更なる重点化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>ファーストタッチ・健康観察を行う対象者を75歳以上等に変更</b>（27日より適用） 【見直し】 &lt;&lt;詳細 P38&gt;&gt;</li> <li>■ <b>医療機関のHER-SYS入力の更なる促進</b> 【取組中】 &lt;&lt;詳細 P39&gt;&gt;</li> <li>■ <b>事務処理センターへの配置人材の拡充（順次）</b> 【取組強化】</li> </ul>		

# 第七波における大規模な感染状況に伴う非常事態とその対応について

## 3 患者数が医療療養体制のキャパシティを大きく超過し、医療療養体制が今後、非常にひっ迫

### 現状

- ◆ 患者受入医療機関における確保病床での想定入院人数は約4,000人（確保病床4,692床（見込み含む）×稼働率85%）
  - ➡ **確保病床に限界。確保病床外での対応を要する患者が多数発生**  
（自院患者コロナ陽性病床、診療型宿泊療養施設、臨時的医療施設、その他宿泊療養施設、自宅療養 等）
  - ➡ **小児の感染者急増に伴う小児患者受入病床のひっ迫**
- ◆ 医療機関クラスターが急増
  - ➡ **自院患者コロナ陽性病床での治療継続が多数必要**
- ◆ 医療従事者の感染や濃厚接触者となることによる、医療人材の不足
  - ➡ **医療提供体制ひっ迫の一要因**
- ◆ コロナ疑い患者・軽症者や熱中症患者等による救急搬送要請急増（第六波のピーク時に相当）
  - ➡ **救急医療体制ひっ迫のおそれ**
- ◆ 宿泊療養希望者の急増
  - ➡ **1日の入所可能居室数を上回る療養希望の申込み**
- ◆ 自宅療養者の急増（陽性者のほとんどが自宅療養）
  - ➡ **往診や外来（搬送含む）、オンライン診療等、自宅療養者への医療提供体制がひっ迫のおそれ**



### 主な対策

- **受入病床の更なる確保・運用が必要**
  - ・緊急避難的確保病床(軽症中等症病床)の運用等要請(7/21)
  - ・フェーズ3(重症病床)の運用等要請(7/25) 【取組中】
  - ・小児患者の受入体制の確保要請(7/21)
- **入院対象の見直し** (7/15実施済) 【取組済】
- **入院患者待機ステーションの再開** 【新規】
- **宿泊療養における重症化リスクのある者等の入所優先の徹底** 【見直し】  
◀詳細 P40▶
- **自宅療養支援の充実** 【新規】
  - ・オンライン診療・薬剤処方強化
  - ・(夜間・休日専用オンライン診療受付センターの設置等) ◀詳細 P41▶
- ・外来診療病院の登録及び夜間休日診療の実施・拡充を要請(7/20)
- ・健康観察、自宅療養者への往診等を行う医療機関の拡充
- ・外来・往診による初期治療や訪問看護師による健康観察等 【取組中】

現在の感染規模が継続した場合、医療療養体制だけではなく、検査体制もひっ迫するおそれが極めて高く、重症化リスクの高い患者への迅速な対応が困難になるおそれ

## 検査体制や保健・医療療養体制における非常事態

# 大規模感染による発熱外来ひっ迫時における診療・検査医療機関受診対象重点化について

## 検査・発熱外来体制の現状

- 診療・検査医療機関数の増加(5月10日時点2,439施設→7月19日時点2,663施設)を図っているものの、医療機関における検査キャパシティの限界に近い状況  
<参考> 第6波における最大検査数:約36,000件(1月31日)、検査体制整備計画【改訂第3版】における推計能力:42,000件(5月11日時点)、最大検査数:44,047件(7月21日)
- 1日に200人を超える発熱患者からの受診希望を受ける病院があるなど、医療機関における発熱外来が極めてひっ迫。

- 今後も検査需要の増大が想定され、医療機関の発熱外来体制の更なるひっ迫が懸念。
- 重症化リスク因子を有する方や他疾患との鑑別や入院トリアージが重要な乳幼児・小児等の優先診療体制が必要。

※重症化リスク因子：65歳以上の高齢者、BMI30以上、慢性腎臓病、糖尿病、免疫抑制状態、心血管疾患、呼吸器疾患（COPD等）、透析患者、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている など

## 今後の対応

大規模な感染拡大や発熱外来のひっ迫が継続する期間において、**診療・検査医療機関の受診対象を可能な限り重点化**  
→ **医療機関の外来体制のひっ迫を最大限に抑える**とともに、**重症化リスク因子のある方等の受診機会を確保**

## 方針

<お盆期間を含む8月中を別途>

①

症状がない方は、診療・検査医療機関は受診せず、無料検査事業所で受検

②

**20～40代の軽症者のうち、重症化リスク因子に該当する基礎疾患がない方等**(※)については、できる限り  
**診療・検査医療機関の受診を控えていただく** ※ワクチン未接種（ワクチン接種が1回のみを含む）の方を含む

府の対応

診療・検査医療機関等の外来を受診せず、  
検査・確定診断が可能となる体制を検討

陽性

治療を要する場合、**オンライン診療による治療・  
薬剤処方**や**自宅待機SOS(相談窓口)**を充実

③

発熱や咳のみ等、軽症の場合は救急車の利用を控えていただく。また、陽性確定前は発熱者SOS又は  
近隣の診療・検査医療機関に、陽性確定後、自宅療養中の場合は自宅待機SOSに相談

# 第7波の感染急拡大を踏まえたさらなる保健所業務の重点化

- 第6波を上回る大規模な感染が発生しており、陽性率も高水準の中、陽性者が多数発生。
- 新規陽性者へのフォロー体制のさらなる重点化を図り、ハイリスク者・高齢者の対応を強化。
- ◆現状： 1日あたりの新規陽性者数が約2万人を超えるなど、過去に類をみない感染規模となり、保健所業務のさらなる重点化が必要
- ◆方針： 優先してファーストタッチ・健康観察を行う対象者をさらに重点化する。

## リスクの高い陽性者への重点化・対応強化

### ファーストタッチを行う対象者の重点化

(2/9国事務連絡に準じる)

R4.2.14対策本部会議

- ファーストタッチ・健康観察を行う対象者を

65歳以上及び65歳未満の方のうち、重症化リスク因子を複数持つ方等に重点化

- ①65歳以上の方及び65歳未満の方のうち、重症化リスク因子<sup>※</sup>を複数持つ方
- ②妊娠している方
- ・重症化リスクのない65歳未満は、自宅療養とし、必要な情報をSMSを活用して周知。宿泊療養希望の場合は自宅待機SOSに連絡。
- ・①②の方は発生届の記載内容から保健所が療養方針を決定。
- ・①②に該当するが保健所から連絡がなく、保健所に連絡しても、繋がらなければ自宅待機SOS(電話:0570-055-221)に連絡。

※ワクチン未接種(ワクチン接種が1回のみの者も含む)、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病、脂質異常症、高血圧症、慢性腎臓病、悪性腫瘍、肥満(BMI 30以上)、喫煙、固形臓器移植後の免疫不全

### ファーストタッチを行う対象者の重点化

(2/9国事務連絡(6/30一部改正)及び感染状況を踏まえ、所長判断により対応)

- ファーストタッチ・健康観察を行う対象者を

75歳以上及び40歳以上75歳未満の方のうち、重症化リスク因子を複数持つ方等に重点化

- ①75歳以上の方及び40歳以上75歳未満の方のうち、重症化リスク因子<sup>※</sup>を複数持つ方
- ②妊娠している方
- ・重症化リスクのない75歳未満は、宿泊療養・自宅療養とし、必要な情報をSMSを活用して周知。宿泊療養希望の場合は自宅待機SOSに連絡。
- ・①②の方は発生届の記載内容から保健所が療養方針・健康観察方法を決定。
- ・①②に該当するが保健所から連絡がなく、保健所に連絡しても、繋がらなければ自宅待機SOS(電話:0570-055-221)に連絡。

※ワクチン未接種(ワクチン接種が1回のみの者も含む)、悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患(COPD等)、慢性腎臓病、心血管疾患、脳血管疾患、喫煙歴、高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満(BMI 30以上)、臓器の移植、免疫抑制剤、抗がん剤等の使用その他の事由による免疫機能の低下

# 医療機関によるHER-SYS入力と健康観察の実施促進

- ◆ 医療機関による発生届のHER-SYS入力率は75.3% (7月17日現在)となった
- ◆ 府内の診療・検査医療機関のうち健康観察実施医療機関は半数となった
- ◆ 感染拡大期において、さらなるHER-SYS入力と健康観察実施医療機関の拡充が必要

## ◇HER-SYS入力状況

【HER-SYS入力率】(R4.3.25時点)



※府のHER-SYS入力情報集計(7/11～7/17)  
 ・発生届総数：68,929件  
 ・HER-SYS入力数：51,896件  
 ・うち、FAX届出からHER-SYS入力に変更した医療機関の入力数18,763件

## ◇健康観察等業務委託の状況 (R4.4.1～7.31)

実施数：1,242機関 (5/31時点) → 1,339機関 (7/17現在)  
 (1,242機関/2,577機関※=48.2%) (1,339機関/2,658機関※=50.4%)  
※診療・検査医療機関数

**☞ 感染拡大により、さらなる医療機関の協力が必要**

**令和4年9月30日まで延長**

【委託金額】HER-SYS入力+健康観察  
 ○初期費用 10万円 (新規実施医療機関)  
 ○運営費用 3,000円/件

## ◇今後の対応方針

- 今回の期限延長により、発生届出件数の多い未入力医療機関に対し、引き続き保健所と連携して働きかけ。
- 国の発生届簡素化による入力負担の軽減などを未入力医療機関に周知し、HER-SYS入力を働きかけ。

# 宿泊療養の優先運用の徹底について

- ◆ 第七波の感染者の急増に伴い、宿泊療養を希望する陽性者が多くなっていることから、現行の基準に基づき、重症化リスクのある者等からの入所を優先して行う運用を徹底する。

**現在の基準**  
 (オミクロン株の特性を踏まえた対応)  
 【令和4年6月16日協議会、17日改定】

○入院を要しない者は原則宿泊療養の対象とする。  
 下記の者を優先

- ・重症化リスクのある者 (BMI25以上や基礎疾患等。無症状含む)
- ・自宅において適切な感染管理対策が取れない者  
 (※)同居家族に高齢者、免疫不全等要配慮者、医療・介護従事者がいる者
- ・ADLが自立しており、集団生活のルールが遵守できる者
- ・中和抗体治療の対象となる者や重症化リスクのある患者は診療型宿泊療養施設を優先、そのうちリハビリや中等度以上の介護的ケアが必要な患者、歩行介助など一定の生活介助が必要な患者は要介護度に応じ、臨時の医療施設を優先

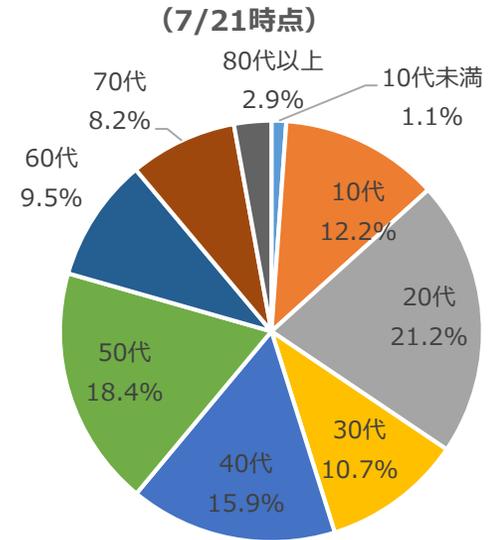
優先運用の徹底

○優先度を下記の3区分とし、宿泊調整を実施

- A) 緊急に対応が必要な者  
 ex. 当日の居場所が確保できない者 など
- B) ・重症化リスクのある者 (免疫不全等、重複リスクの度合を考慮)  
 ・高齢者やハイリスク者と同居で感染対策が取れない者
- C) その他の者  
 宿泊療養施設の空き状況により順次調整  
 (※3日経過後、入所決定できない場合は、再架電して状況確認)

【参考】

宿泊療養者の年齢割合



- ⇒ 対応
- ① 申し込み受付人員体制の強化
    - ・ SOS 受付回線 200回線 → 300回線 (8月初旬)
    - ・ コールC (発生届未確認) 人員 40人 → 70人 (8月初旬)
  - ② 宿泊療養施設再稼働と稼働率向上 (看護師確保・日々の入所者数の増等)
  - ③ 搬送車両の増車 (+50台 (30台対応済) 計255台 順次)



<参考> (7/25現在)

- ・ 宿泊療養施設稼働数 29施設 8,030室 (計画:約1万室 (9,861室))
- ・ 入所者 約3,500人 (入所率 約46%)
- ・ 「自宅待機SOS」の入所申込み関係受電数 平均:約1,000件/日

# オンライン診療・薬剤処方強化について

- ◆ 第七波の感染急拡大により急増する自宅療養者の急な発熱などに対応するため、オンライン診療の充実・強化を図る。
- ◆ 平日・日中のオンライン診療が可能な医療機関に患者が直接アクセスできるよう、医療機関の公表件数の増加を図る。
- ◆ 「夜間・休日専用オンライン診療受付センター」を設置し、診療及び24時間の薬剤配送体制を整備。  
開始時期;7月21日から府域全域で実施。申し込み;「自宅待機SOS」を通じて行う。

## 診療から薬剤処方・配送までの流れ

